

第1次七尾市総合計画 目標達成状況

(平成27年12月31日現在)

総務部企画財政課

目次

1	目標達成状況の概要	1
2	目標人口達成状況	4
3	分野別目標達成状況	
	第1節 地域経営	5
	第2節 産業	9
	第3節 教育	19
	第4節 芸術・文化	27
	第5節 自然環境	31
	第6節 健康・福祉・医療	35
	第7節 生活環境・都市基盤	45
4	分野別目標達成状況一覧	53

目標達成状況の概要

1 将来人口（目標人口）及び主な目標値について

（1）基本構想の将来人口（目標人口）

第1次七尾市総合計画（平成21～30年度）の基本構想では、平成30年度の推計人口約50,000人に対して、人口減少を抑制するための重点的かつ戦略的な施策を行うことにより、将来人口（目標人口）を52,000人とするとともに、平成30年度までの各年度の目標人口を設定しています。

（2）基本計画の主な目標値（分野別目標達成）

また、基本構想では、「人が輝く 交流体感都市」を市の将来像に掲げ、その実現のために、基本計画において施策に基づき具体的な数値で示した64の主な指標の目標値を設定しています。

将来人口及び主な目標値については、総合計画の最終目標年次（平成30年度）と基本計画の前期の目標年次（平成25年度）の目標値とともに、年度ごとの目標値を設定し、達成状況を毎年度公表することとしています。

2 平成26年度の実績について

（1）目標人口の実績

総合計画策定時に設定した平成26年10月1日における目標人口55,002人に対し、平成26年の結果は、54,716人となり、目標人口を286人下回ったものの、当時の推計人口を635人上回りました。

（2）分野別目標達成の評価基準

実績は、目標の達成状況に応じて、S、特A、A、B、Cの5つの評価ランクで区分しています。

評価ランク	当該年度目標達成率
S：平成30年度の目標値を達成している	—
特A：当該年度の目標ラインを大幅に上回っている	110%以上
A：当該年度の目標ラインを上回っている	100%以上～110%未満
B：当該年度の目標ラインを下回っている	90%以上～100%未満
C：当該年度の目標ラインを大幅に下回っている	90%未満

(3) 分野別目標達成の実績の概要

平成26年度の主な目標値の実績は、全64項目のうち、Sランクが9項目、特Aランクが5項目、Aランクが3項目、Bランクが16項目、Cランクが31項目でした。

Aランク以上となった項目は17項目で、全体の26.6%にとどまる結果となりました。

達成率を政策別にみると、「生活環境・都市基盤」が50.0%の達成率となり、「芸術・文化」「自然環境」ではいずれも目標値を下回り0.0%となりました。

◎ 達成率：(ランクS、特A、Aの合計項目数) ÷ 全項目数 × 100

政策区分	S	特A	A	B	C	合計	達成率
地域経営	1 (3)	1		1 (1)	3 (2)	6 (6)	33.3% (50.0%)
産業	3 (7)	1		3 (3)	9 (6)	16 (16)	25.0% (43.8%)
教育	1 (3)		1 (1)	4 (2)	5 (5)	11 (11)	18.2% (36.4%)
芸術・文化				1 (1)	4 (4)	5 (5)	0.0% (0.0%)
自然環境	(1)			1 (1)	3 (2)	4 (4)	0.0% (25.0%)
健康・福祉・医療	2 (3)	1 (1)	1	4 (3)	4 (5)	12 (12)	33.3% (33.3%)
生活環境・都市基盤	2 (4)	2	1 (1)	2 (4)	3 (1)	10 (10)	50.0% (50.0%)
合計	9 (21)	5 (1)	3 (2)	16 (15)	31 (25)	64 (64)	26.6% (39.1%)

※ 表中のかっこ書きは、平成25年度の数値

3 まとめ

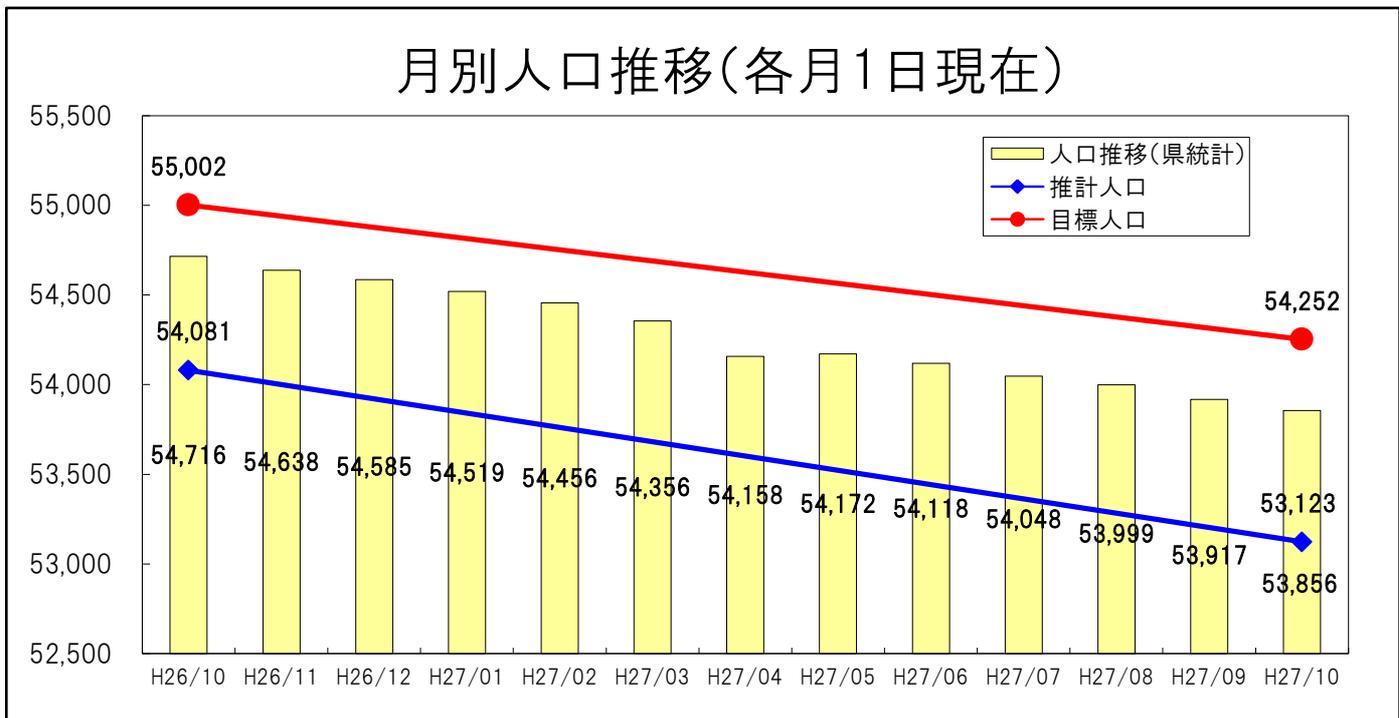
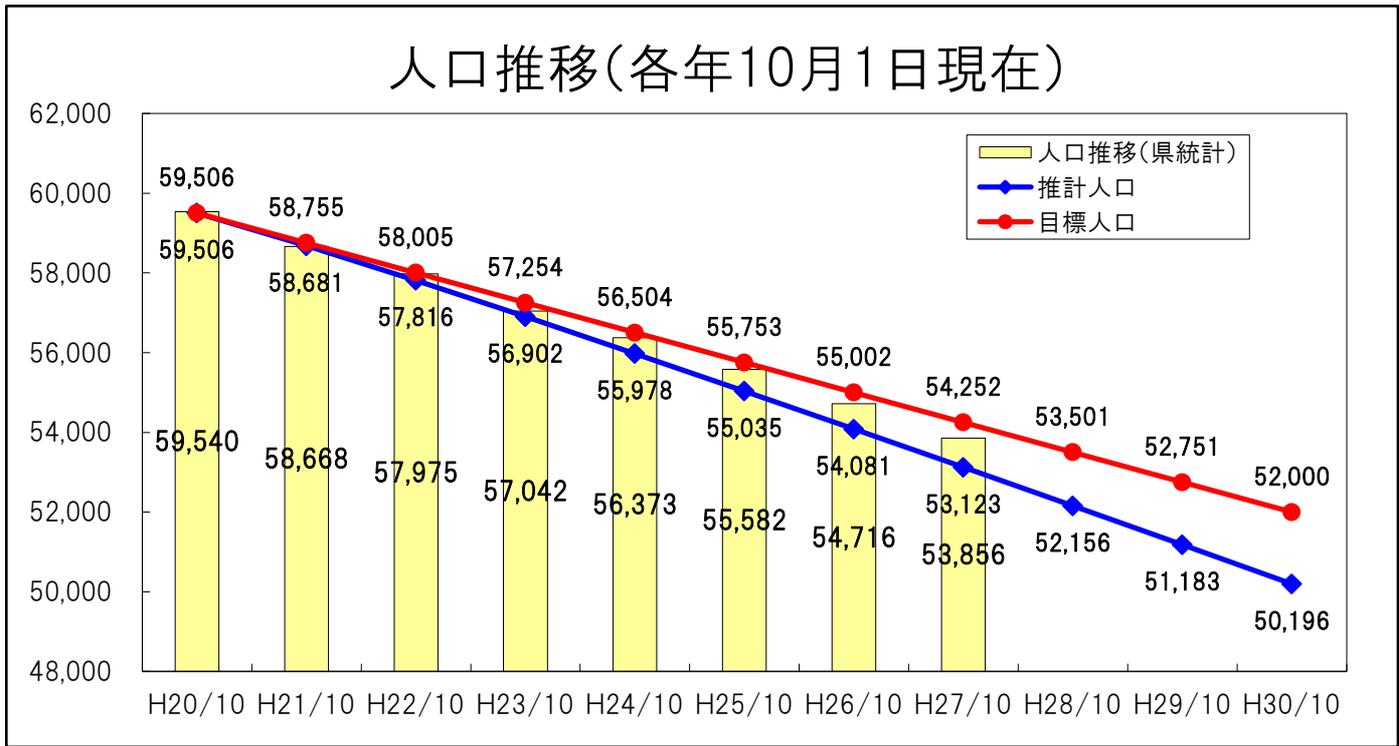
今回の目標達成状況は、平成21年度から平成30年度を目標年次とする第1次七尾市総合計画に基づき、平成22年度から行っています。

人口は、総合計画策定時に設定した目標人口を下回っているものの、推計人口を若干上回る数値で推移しています。今後も、分野別それぞれの目標の達成を強化し、相乗効果を生むことにより、目標人口を確保できるよう取り組みます。

分野別の目標の達成状況については、分野別の主な目標値設定の難易度にばらつきが見られることや、目標値を見直した項目があること、また目標値の評価に当たり実施した「七尾市まちづくり市民意識調査」の結果が総じて低い水準となったことから、全体として達成度が低い傾向となりました。

今後は、達成率の低い政策分野について、全体的な底上げをしていかなければなりません。特に、ランクB、Cの分野については、毎年度の具体的な現状、課題を適切に分析し、工夫をした施策運営をするとともに、あわせて、ランクSとなった分野についても、改めて高い目標を設定するなど、基本計画に掲げる目標の確実な達成に向け、積極的に取り組みます。

目標人口達成状況



年/月	人 口			増減数	対 前 月				世帯数	対前月増減数	
	総 数	増減数			自然増減数		社会増減数				
		男	女		出生者数	死亡者数	転入者数	転出者数			
H26/10	54,716	25,865	28,851	-79	25	71	67	100	20,827	-31	
H26/11	54,638	25,829	28,809	-78	26	66	72	110	20,810	-17	
H26/12	54,585	25,793	28,792	-53	33	77	63	72	20,801	-9	
H27/01	54,519	25,766	28,753	-66	28	84	58	68	20,774	-27	
H27/02	54,456	25,735	28,721	-63	31	86	85	93	20,782	8	
H27/03	54,356	25,685	28,671	-100	26	76	63	113	20,777	-5	
H27/04	54,158	25,599	28,559	-198	28	88	221	359	20,754	-23	
H27/05	54,172	25,600	28,572	14	31	69	240	188	20,823	69	
H27/06	54,118	25,566	28,552	-54	27	67	79	93	20,819	-4	
H27/07	54,048	25,546	28,502	-70	26	67	81	110	20,808	-11	
H27/08	53,999	25,504	28,495	-49	39	79	112	121	20,824	16	
H27/09	53,917	25,491	28,426	-82	27	74	79	114	20,808	-16	
H27/10	53,856			-61	23	52	88	120	20,824	16	
				累計	-939	370	956	1,308	1,661		-34

分野別目標達成状況

1 地域経営
1 協働・市民参画の推進
(1) 協働のまちづくりの推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	特A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
市民と行政が協力し合うまちづくりが進んでいると思う市民の割合（市民アンケート）	20.1%	30.0%	35.0%

この分野における現状

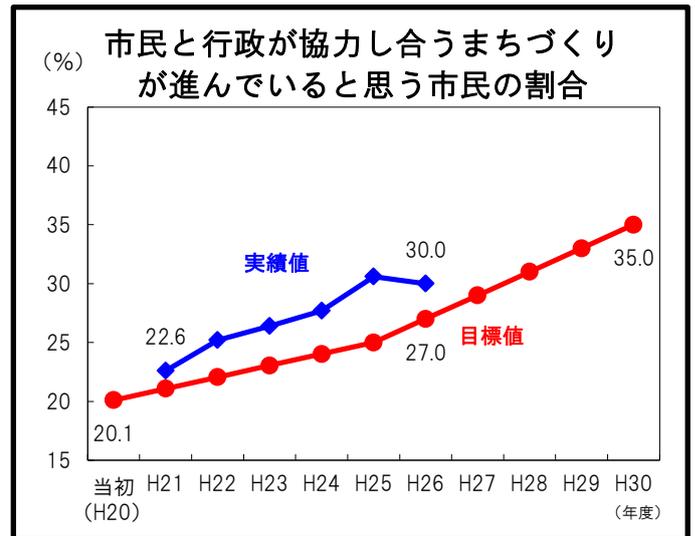
協働のまちづくり推進事業については、近年の制度変更及び見直しなどによって、市民に周知が行き届いておらず、応募団体は以前から見ると減少している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 市民、行政の協働意識の醸成
- ・ 協働を推進するための、市民参画と情報公開の促進
- ・ 協働する者のルールの策定

平成27年度の主要事業

- ・ まちづくり基本条例推進事業（まちづくりフェスタの開催）
- ・ 協働のまちづくり推進事業
- ・ 市民のねがい推進事業
- ・ 協働の基本指針の策定



担当課	評価ランク
市民男女協働課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
地域活動に参加している市民の割合（市民アンケート）	51.3%	48.3%	60.0%

この分野における現状

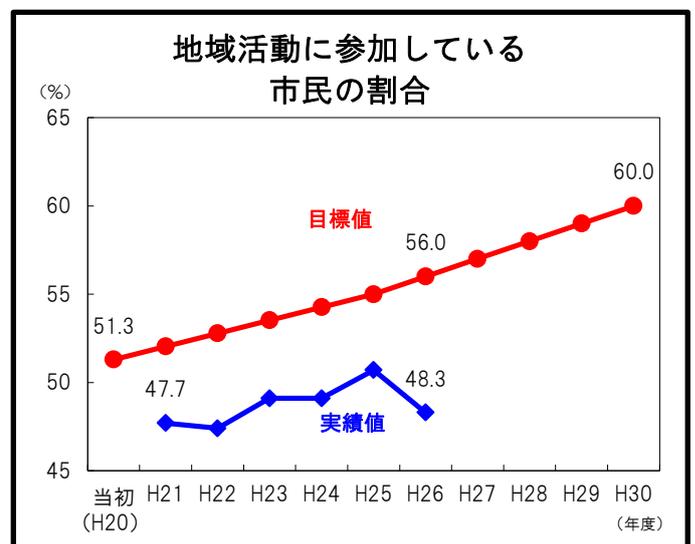
・ 担い手の高齢化、人材育成が不十分
 ・ 社会情勢の変化などにより地域課題が多様化・複雑化しているにもかかわらず、担い手が不足している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 地域リーダーの育成
- ・ 行政、市民における担い手育成の取組み
- ・ 地域づくり協議会が行う担い手育成への行政の支援

平成27年度の主要事業

- ・ まちづくりコーディネーターの派遣
- ・ 地域づくり協議会への人的支援及び財政支援



分野別目標達成状況

1 地域経営
1 協働・市民参画の推進
(2) 広報・広聴活動の充実

担当課	評価ランク
広報広聴課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
市が市政に関する情報を適切に提供していると思う市民の割合（市民アンケート）	47.0%	44.4%	65.0%

この分野における現状

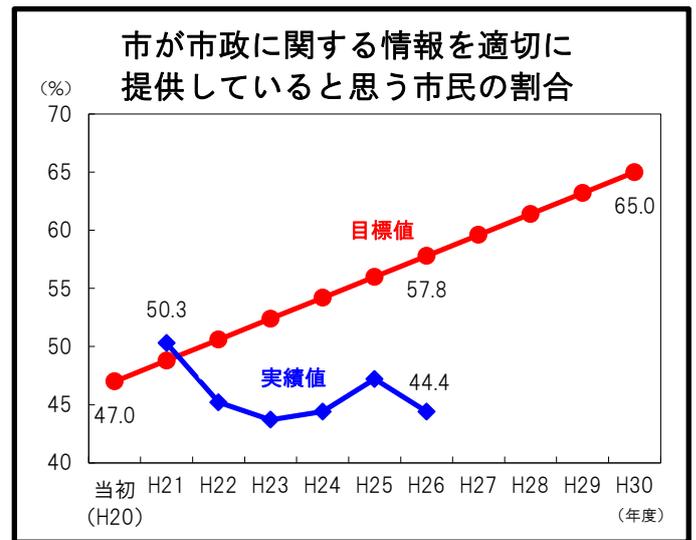
- ・地域に向いて市の施策などについて意見交換を行う「市政懇談会」を定期的に開催している。
- ・毎月「広報ななお」「声の広報」を発刊し、お知らせや地域の話題を提供。
- ・ケーブルテレビで行政情報や地域の話題を提供。
- ・ホームページで行政や観光情報のほか緊急情報を発信。
- ・SNS（フェイスブック、ツイッター）との連携および活用。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・広聴…市政に対し積極的に意見を述べるできない市民の存在を認識し、市民の声を聴く機会の充実が求められる。
- ・広報…各種媒体（広報ななお、ケーブルテレビ、ホームページ、各課の広報媒体）で工夫を凝らした広報を行う必要がある。

平成27年度の主要事業

- ・市政懇談会の開催
- ・市民の声を把握する「ご意見箱」の設置など
- ・市民に分かりやすい広報誌の作成



分野別目標達成状況

1 地域経営
2 効率的な行政経営の推進
(1) 行政サービスの向上

担当課	評価ランク
秘書人事課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
市役所職員の窓口や電話での対応に満足している市民の割合（市民アンケート）	56.0%	52.7%	75.0%

この分野における現状

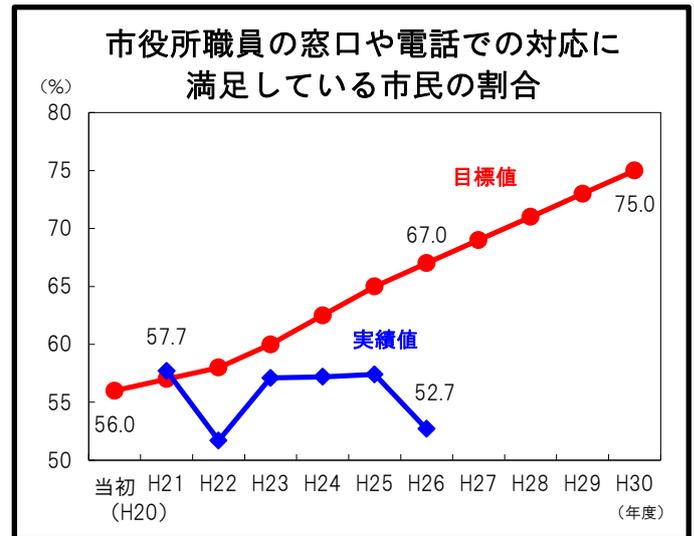
・窓口業務の多い健康福祉部では、毎日朝礼で「お客様応接心得」を全職員で唱和し、市民サービスの徹底をしている。また、苦情があった場合、情報共有し、再発防止を徹底している。市民の苦情件数は減少傾向にある。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・市民の立場に立ち、思いやりと気配りに配慮する。
- ・各職員の意識改革の徹底。

平成27年度の主要事業

- ・外部機関派遣研修事業（住民サービス・クレーム対応、説明能力向上など）
- ・人事評価制度（能力評価により、チェック項目を確認し、意識改革に繋げる）



分野別目標達成状況

1 地域経営
2 効率的な行政経営の推進
(2) 健全な行財政経営の推進

担当課	評価ランク
企画財政課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
経常収支比率	98.8%	96.7%	92.0%

この分野における現状

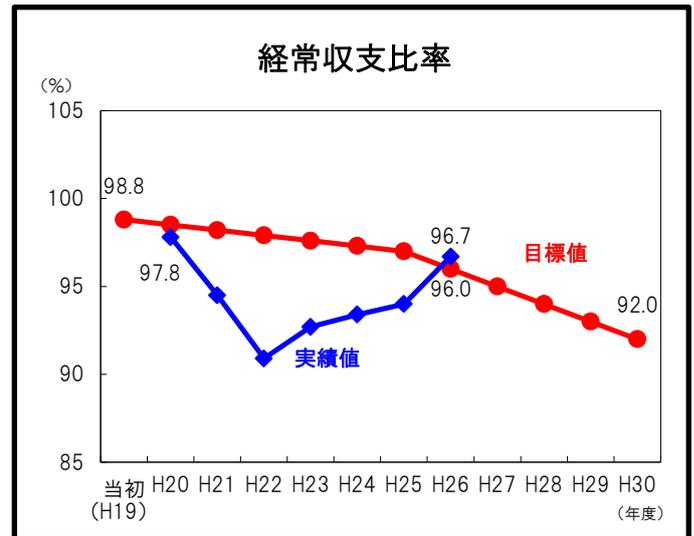
財政構造の弾力性を示す経常収支比率は96.7%で、対前年2.7%悪化した。これは、歳入において市税などで約5千万円の減となり、歳出で経常経費を賄うために必要な一般財源が約4億9千万円増加したことによるものである。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・市税の確保
- ・行革3次プランの確実な取組み
- ・定員適正化計画の確実な取組み
- ・公共施設等総合管理計画の確実な取組み

平成27年度の主要事業

経常経費の削減（事務事業の見直し、施設管理経費の抑制）



担当課	評価ランク
企画財政課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
実質公債費比率	20.1%	15.2%	17.0%

この分野における現状

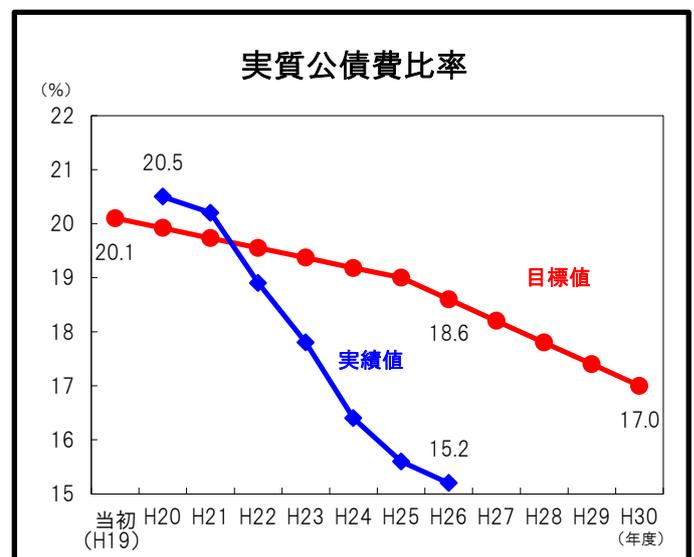
実質公債費比率が対前年度0.4ポイント改善した。主な理由は、合併特例債の交付税算入が対前年度1億9千万円の増となったことなどであり、実質公債費を縮小させる要因となっている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・交付税措置のある有利な地方債発行
(合併特例債の発行 ～平成31年度まで)
償還条件：償還期間20年（うち1年据置）

平成27年度の主要事業

元金償還金を下回る市債発行（市債残高の抑制）



分野別目標達成状況

2 産業
1 観光の振興
(1) 魅力あふれる観光地の形成

担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成26年)	平成30年
七尾市への入り込み客数	3,822,705人	3,633,986人	4,300,000人

この分野における現状

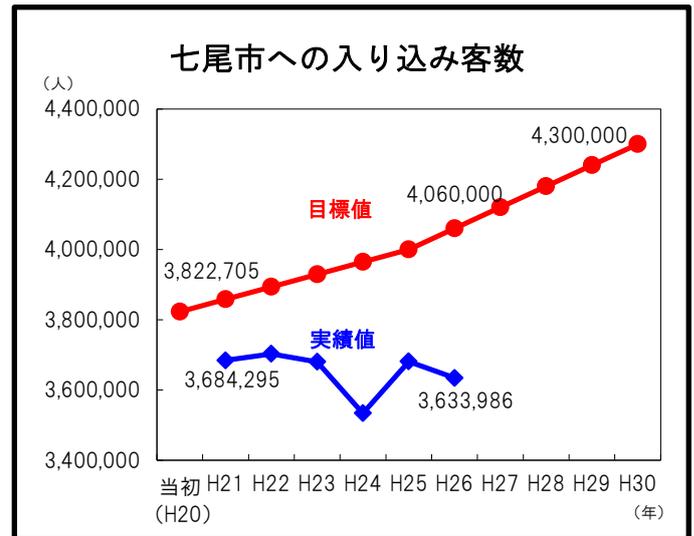
- ・宿泊施設では、和倉温泉の入り込み客数が減少
- ・観光施設では、能登食祭市場等入り込み客数が増加している施設があるものの入り込みの多い夏の天候不順等により全体として減少傾向
- ・交通インフラでは、平成27年3月に北陸新幹線金沢開業、能越自動車道七尾氷見道路が全線開通し、首都圏等のアクセスが飛躍的に向上した。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・「地域資源」を活用した「体験・学習・交流・食」メニューの充実による「滞在型観光」の整備
- ・富山ー金沢ー能登の観光周遊ルートの形成
- ・観光列車を活用した誘客の促進

平成27年度の主要事業

- ・魅力あるイベントの開催
(花嫁のれん展、港まつり、MJF、能登ふるさと博等)
- ・七尾湾魅力アップ推進事業
(等伯と歩く七尾の地バスツアー、七尾城に関するフォーラム等)



担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成26年)	平成30年
和倉温泉への入り込み客数	905,705人	813,620人	1,200,000人

この分野における現状

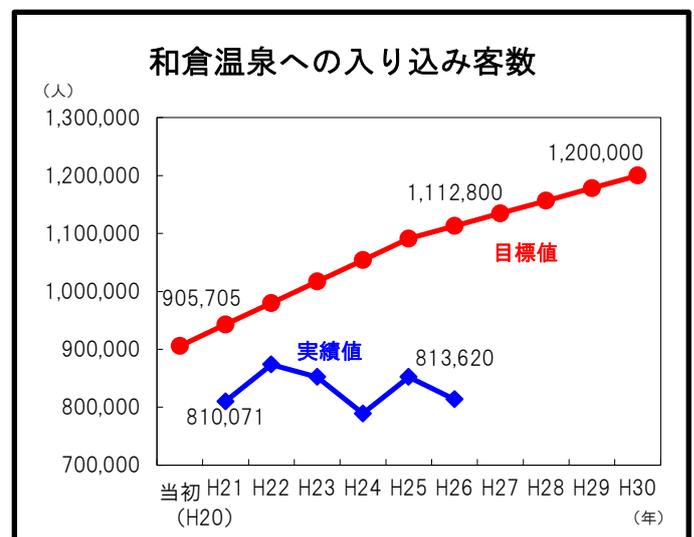
- ・平成25年は能登有料道路の無料化等に伴い入り込み客数が増加したが、平成26年は夏の天候不順、消費税増税等に伴う三大都市圏からの入り込み客数が減少した。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・「地域資源」を活用した「体験・学習・交流・食」メニューの充実による「滞在型観光」の整備
- ・北陸新幹線金沢開業及び能越自動車道七尾氷見道路全線開通を活用した誘客の促進

平成27年度の主要事業

- ・和倉温泉の魅力あるイベントの開催
(夏・冬花火、能登和倉万葉の里マラソン)
- ・宿泊拠点化推進事業 (二次交通促進事業)
- ・まちづくり推進事業
- ・観光地ブランド化推進事業
- ・誘客広報全国展開事業



分野別目標達成状況

2 産業
1 観光の振興
(2) 広域観光の促進

担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成26年)	平成30年
三大都市圏からの入り込み客数 (和倉温泉)	482,114人	350,046人	600,000人

この分野における現状

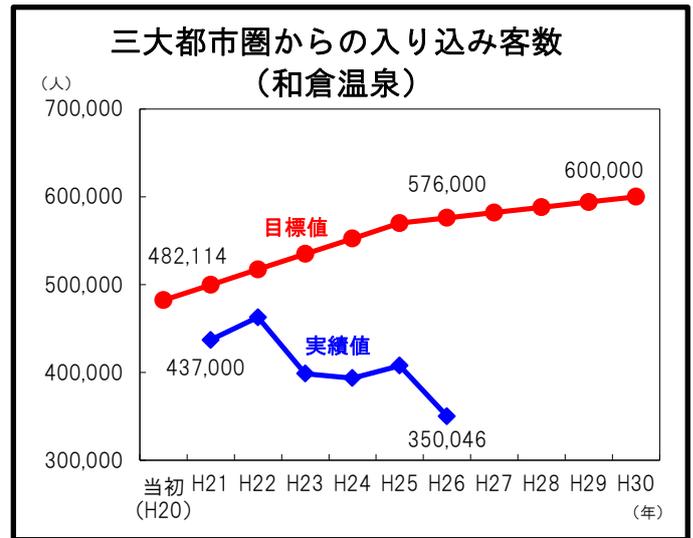
能登有料道路の無料化等に伴い、平成25年は増加し復調傾向にあったものの、平成26年は夏の天候不順、消費税増税等に伴い減少

目標達成に向けた具体的な課題

- ・能登半島広域観光協会の構成団体である宝達志水以北の4市5町全域の情報提供
- ・各市町の地域資源の有機的な連携による「滞在型観光」の整備
- ・北陸新幹線金沢開業に伴う関東圏からの誘客推進

平成27年度の主要事業

- ・能登半島広域観光協会による能登全体のPR活動の推進
- ・能登ふるさと博キャンペーン事業
- ・郡上市、丸亀市交流事業 ・飛越能経経済観光都市懇談会事業
- ・高岡水見七尾広域観光事業 ・和倉温泉誘客広報全国展開事業



担当課	評価ランク
観光交流課	B

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成26年)	平成30年
外国人宿泊者数 (和倉温泉)	21,227人	20,606人	25,000人

この分野における現状

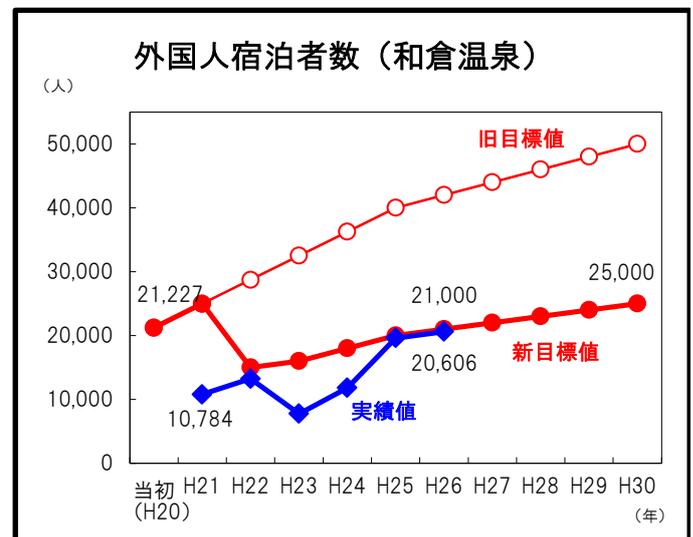
- ・平成23年3月に発生した東日本大震災の影響の薄れ、円安やビザ発給要件緩和により3年連続増加
- ・中国本土からの宿泊者数が大幅増加

目標達成に向けた具体的な課題

- ・国際チャーター便の誘客活動の推進
- ・外国人観光客の受入環境の整備
- ・外国人観光客への情報発信

平成27年度の主要事業

- ・能登空港活性化・利用促進事業
- ・台湾観光団体誘客事業
- ・インバウンド事業



分野別目標達成状況

2 産業
1 観光の振興
(3) 体験・滞在型交流の促進

担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
体験・滞在型交流人口	2,202人泊	43,190人泊	90,000人泊

この分野における現状

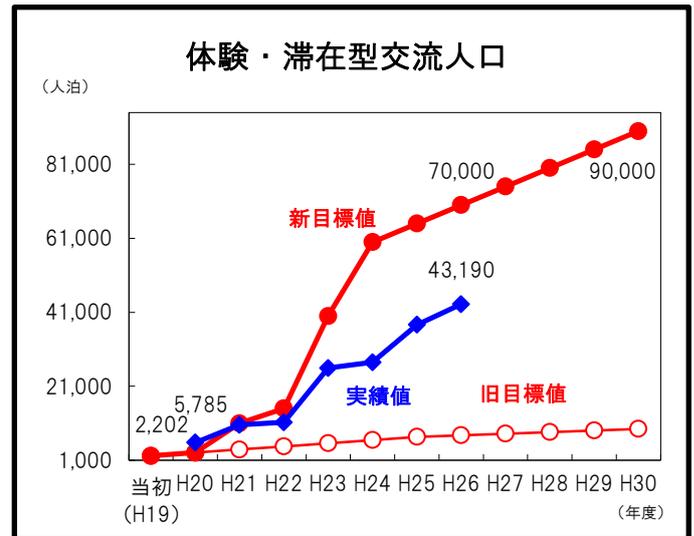
地域資源を活用した「体験・学習・交流・食」メニューのプログラムの提供による教育旅行と文化系及びスポーツ合宿により、宿泊人数が大幅に増加した。今後も増加が見込まれるサッカー、平成27年度完成のテニスコートの合宿、大会などの受入強化を図るため、更なるサービス向上に努める。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・地域資源を活用した「体験・学習・交流・食」メニューのプログラムの充実による「体験・滞在型交流」の促進
- ・合宿、大会等の受入体制の強化
- ・ワンストップサービスの充実と機能強化
- ・食事等、質の高い合宿サービスの平準化

平成27年度の主要事業

- ・合宿等誘致事業
(合宿、教育旅行、コンベンション、大会)
- ・子ども農山漁村交流プロジェクト事業



分野別目標達成状況

2 産業
2 商工業の振興
(1) 地域資源を活かした商工業の振興

担当課	評価ランク
産業振興課	C

指標名	当初 (平成18年)	現状 (平成26年)	平成30年
製造品出荷額等	693億円	550億円	741億円

この分野における現状

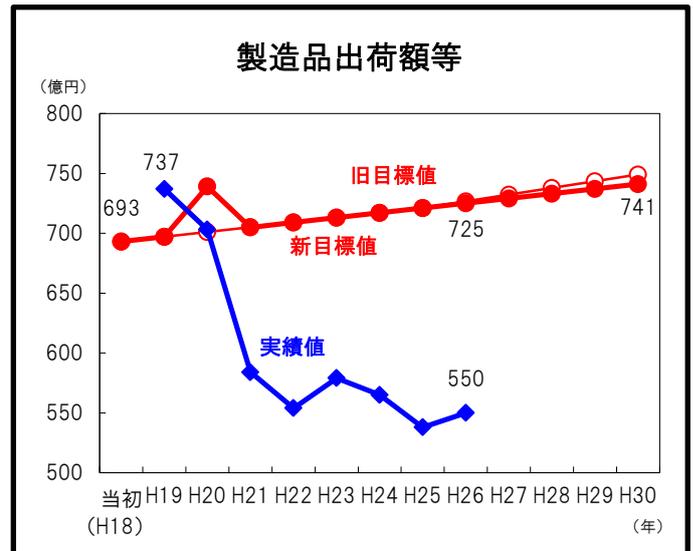
- ・事業所数の減少
 中小小売業者等
- ・売り上げ減少
- ・伝統産業の衰退

目標達成に向けた具体的な課題

- ・中小企業経営の安定化に向けた取り組み
- ・後継者不足
 技術伝承のための人材育成等
- ・ニーズの多様化に対応した経営
- ・生産の共同化、協業化に向けた体制づくり

平成27年度の主要事業

- ・中小企業経営安定保証料補助金
- ・新商品開発事業、販路開拓支援事業
- ・産業人材育成（創業塾）
- ・伝統産業振興（七尾仏壇・田鶴浜建具）
- ・地域産業振興プランの具体化に向けた取り組み



担当課	評価ランク
産業振興課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成26年)	平成30年
(修正) 新たな商品・サービスの創出を行った事業者数	15事業者	7事業者	15事業者

この分野における現状

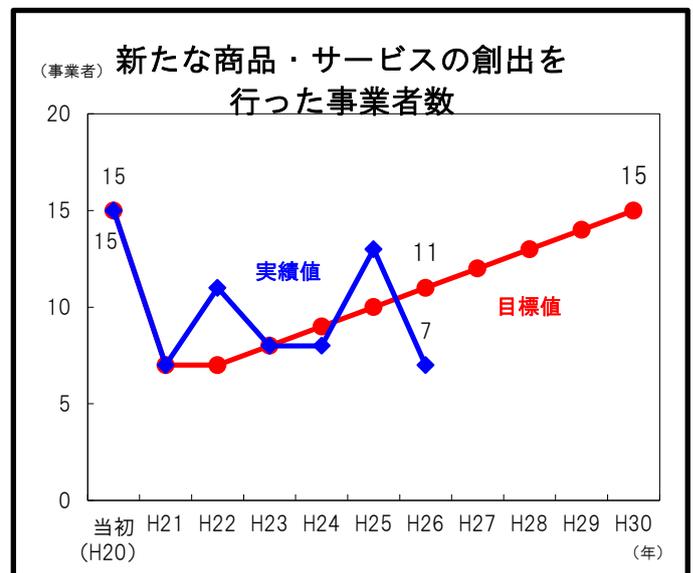
- ・事業所数の減少
 中小小売業者等
- ・売り上げ減少
- ・伝統産業の衰退

目標達成に向けた具体的な課題

- ・中小企業経営の安定化に向けた取り組み
- ・地域資源を活かした施策の展開
- ・後継者不足
- ・ニーズの多様化に対応した経営
- ・魅力ある商店街づくり

平成27年度の主要事業

- ・新商品開発支援事業、販路開拓支援事業
- ・中小企業経営安定保証料補助金
- ・産業人材育成（創業塾）
- ・伝統産業振興（七尾仏壇・田鶴浜建具）
- ・地域産業振興プランの具体化に向けた取り組み



分野別目標達成状況

2 産業
2 商工業の振興
(2) 雇用機会の創出と人材育成

担当課	評価ランク
産業振興課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
企業立地件数 (平成20年度からの累計)	0件	5件	10件

この分野における現状

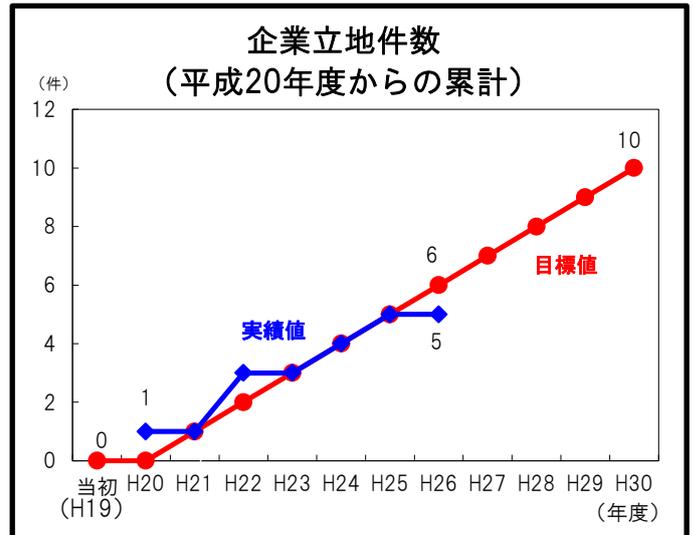
- ・地方創生が掲げる、東京の一極集中の是正による地方分散型の方針により、企業の地方移転に期待している。
- ・能越自動車道のアクセス向上による期待も高い。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・地理的条件(輸送コスト)から誘致が進まない。
- ・即応できる工業用地(団地・造成地)がない。

平成27年度の主要事業

- ・食品加工、木材加工を重点とした企業誘致
- ・能登の特色を生かした、農業、海業関係企業の誘致
- ・七尾鹿島経済交流促進協議会の交流による誘致
- ・企業立地推進員及び職員による情報収集



担当課	評価ランク
産業振興課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
(修正) 新規起業家数 (平成19年度からの累計)	3人	19人	12人

この分野における現状

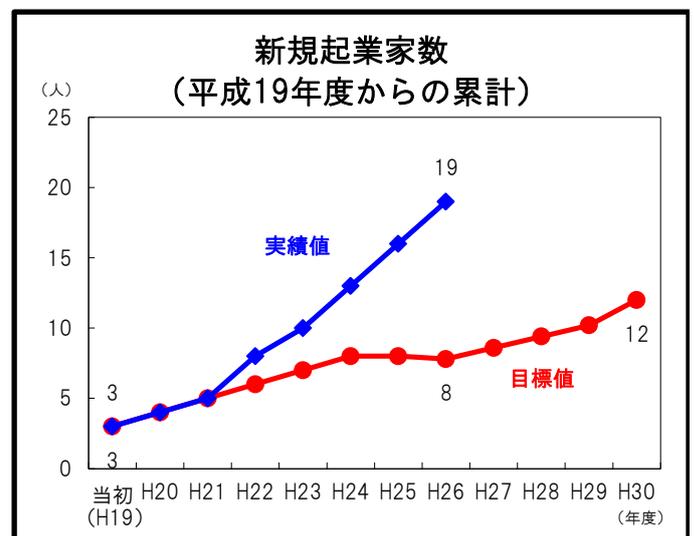
- ・人口減少等による地域産業の衰退
- ・消費者ニーズの多様化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・経営に関する知識、ノウハウ不足
- ・優れた産業人材不足
- ・人口減少等による地域産業の衰退

平成27年度の主要事業

- ・なお創業応援カルテットによる支援(創業塾等)
- ・シャッターオープン事業
- ・新商品開発支援事業



分野別目標達成状況

2 産業
3 農林水産業の振興
(1) 個性豊かな農業の振興

担当課	評価ランク
農林課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
認定農家数	101経営体	132経営体	160経営体

この分野における現状

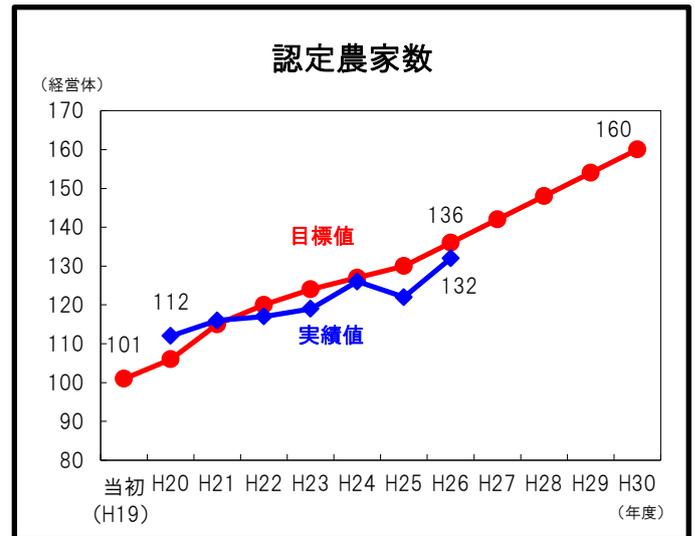
・ 農業者が自ら作成する農業経営改善計画（5年後の経営目標）を認定することにより、意欲を持って経営の改善・発展に取り組む認定農業者を育成している。

目標達成に向けた具体的な課題

・ ほ場整備の推進、集落営農、農業法人の育成
 ・ 高齢化に伴う死亡や認定を更新しない者も多く、集落営農や法人化に伴い、認定者数自体は減少に転じる場合もある。
 ・ 加工、流通、販売等の多角化経営の取り組み

平成27年度の主要事業

・ 基盤整備事業を通じた担い手を育成
 ・ 農業経営改善計画更新に向けたフォローアップ
 ・ 新規就農者の就農支援
 ・ いしかわ農業総合支援機構と連携した事業の推進
 ・ 新たな農業経営指標を活用したフォローアップ



担当課	評価ランク
農林課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
(修正) 集落営農組織数	25組織	33組織	28組織

この分野における現状

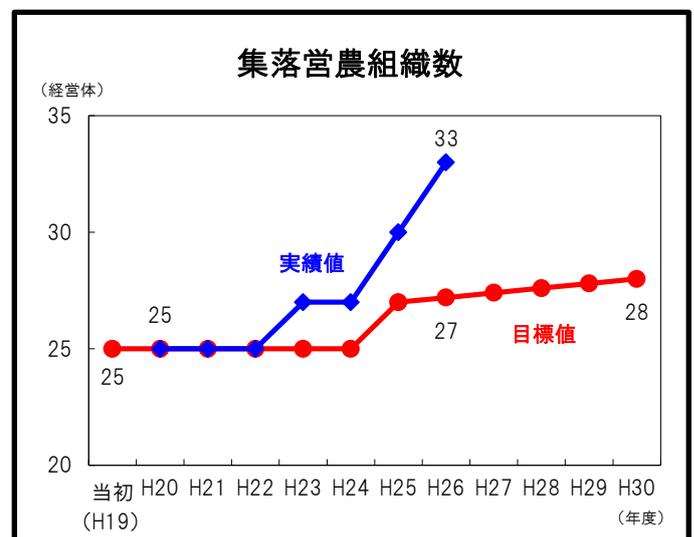
・ 3戸以上の農家で機械資源の共有化や共同販売経理などを行う組織を集落営農としている。
 ・ 過剰投資を抑え、営農の継続性を高めるためにも組織化は必要である。

目標達成に向けた具体的な課題

・ 個人の認定農業者と共存できる集落営農のあり方
 ・ 認定農業者を中心として設立する集落営農の推進
 ・ 任意組織での個別販売経理を一元化に導く方策

平成27年度の主要事業

・ 担い手経営発展支援事業による集落営農法人化支援
 ・ 農業経営研修会等の開催



分野別目標達成状況

2 産業
3 農林水産業の振興
(2) 豊かな森林資源の保全と活用

担当課	評価ランク
農林課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
間伐材生産量	1,213m ³	6,193m ³	5,000m ³

この分野における現状

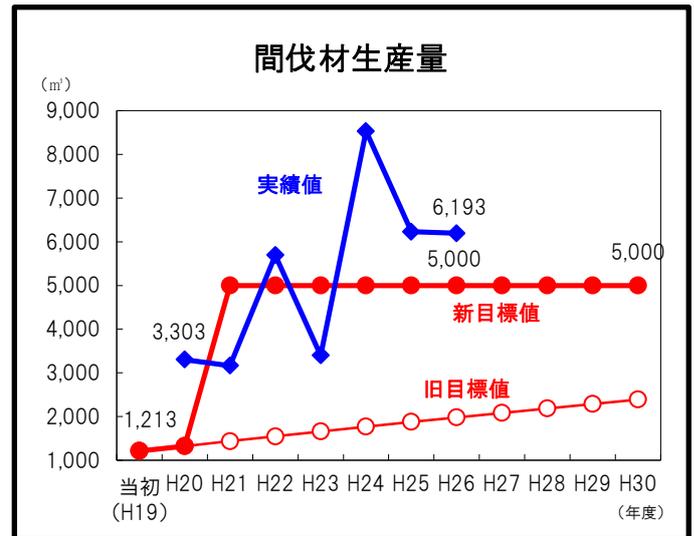
木材価格の低迷、林業採算性の悪化、過疎化等による手入れ不足の森林が増加しているため、森林が荒廃し、機能が低下し、災害等の発生が懸念されており、適切な森林施業の実施が必要である。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 除間伐などの森林施業の実施
- ・ 森林の公益的機能の低下防止、回復
- ・ 間伐材利活用促進、需要拡大
- ・ 担い手など人材育成

平成27年度の主要事業

- ・ 七尾市産材使用住宅助成事業
- ・ 森林整備地域活動支援交付金事業



分野別目標達成状況

2 産業
3 農林水産業の振興
(3) 魅力ある水産業の創出

担当課	評価ランク
里山里海振興課	C

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成26年)	平成30年
七尾市公設地方卸売市場の水産物取扱高	12,205t	12,036t	15,300t

この分野における現状

漁業経営者の減少・慢性的な資源減少・消費者の魚ばなれ・魚価の低迷など、漁業を取り巻く環境は大変に厳しい。大型定置網漁業における漁獲量が少なかった。

目標達成に向けた具体的な課題

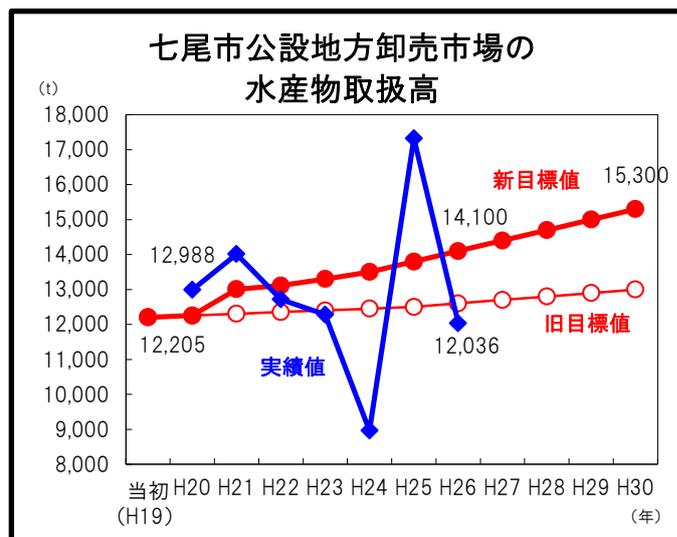
地域栽培漁業の推進

- ・アカガイ、サザエ、アワビ、クロダイ、ヒラメの放流
 - ・高級魚介類の資源増大に向けた取組み(トリガイ、トラフグ、ナマコ)
 - 「いきいき七尾魚」「能登かき」「能登なまこ」ブランド推進
- 水産基盤の整備

平成27年度の主要事業

地域栽培漁業の推進指導

- 漁業経営体の育成、水産ブランド化推進
- 環境衛生管理型漁港の整備促進（庵漁港ほか）



分野別目標達成状況

2 産業
4 港を核とした産業の振興
(1) 港湾の機能充実と利用促進

担当課	評価ランク
産業振興課	B

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成26年)	平成30年
取扱貨物量（七尾港）	4,395千t	4,539千t	5,400千t

この分野における現状

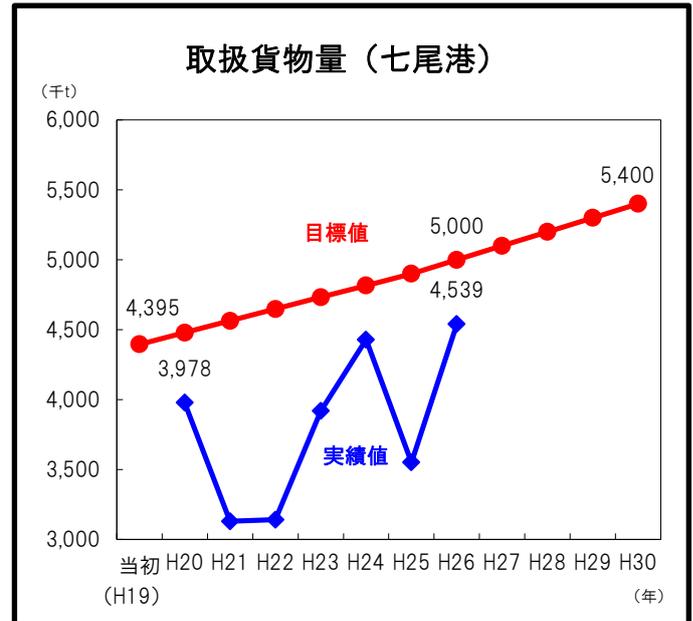
- ・平成26年度は大田火力発電所がフル稼働したことから主要貨物の石炭が増加し、七尾港の取扱貨物量が過去最高となった。
- ・七尾港で取り扱う木材は、輸入材から国産材へシフトしているものの、国内のバイオマス発電の需要等により輸入原木量も増加している。
- ・平成23年、日本海側拠点化形成促進港（原木）に選定された。その計画の実現性に向けてフォローアップを行なっている。

目標達成に向けた具体的な課題

- 協議会、会議所、港湾関係企業の連携による
- ・既存貨物の定着及び新規貨物の掘り起し
 - ・港湾活用型企業の誘致

平成27年度の主要事業

- ・七尾港木材総合拠点化推進事業
- ・七尾港船舶整備拠点化推進事業
- ・クルーズ船誘致強化事業
- ・客船「にっぽん丸」寄港（H27.5.1）
- ・帆船「日本丸」寄港（H27.8.7-11）



分野別目標達成状況

2 産業
4 港を核とした産業の振興
(2) 中心市街地活性化の推進

担当課	評価ランク
産業振興課	特A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
(修正) 空き店舗の活用件数 (平成21年度からの累計)	0件	7件	9件

この分野における現状

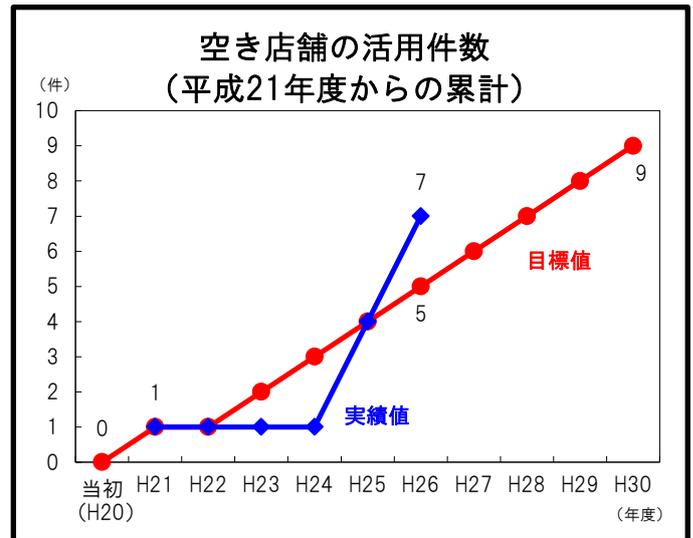
- ・人口減少
- ・モータリゼーションの進展
- ・郊外型大規模店舗の進出
- ・中心市街地の活力低下

目標達成に向けた具体的な課題

- ・人口減少による商圈縮小
- ・中心市街地の活力低下

平成27年度の主要事業

- ・シャッターオープン事業
- ・「ななお創業応援カルテット」による創業者への官民支援



担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成26年)	平成30年
まちなかイベント入り込み客数	104,600人	98,490人	160,000人

この分野における現状

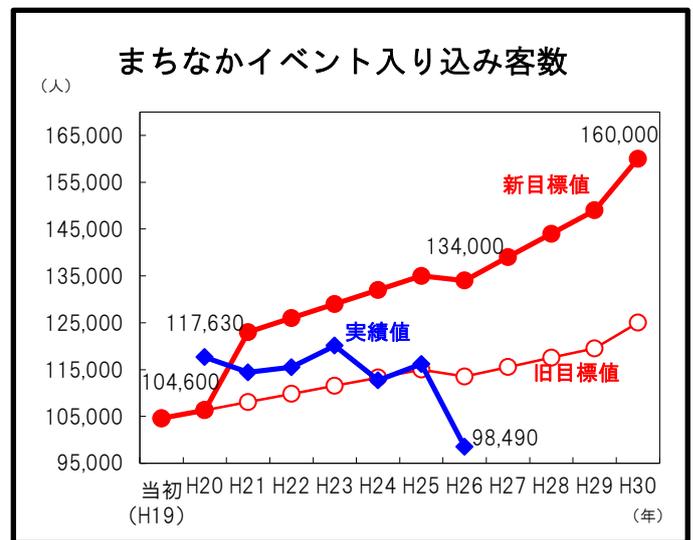
北陸新幹線金沢開業、能越自動車道七尾氷見道路の開通により、七尾を訪れる観光客が増加している。市内の小売店（飲食店、お土産物販売店）に効果が波及するためにも地域性のある商品（ランチメニュー、特産品など）を開発する取り組みを進めている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・歴史文化、まちなみ、暮らし体験メニューの充実を図る。
- ・観光関連情報のワンストップ化。
- ・二次交通の促進強化。
- ・観光情報の提供とトイレ提供店舗の拡大。
- ・山の寺寺院群の魅力付け

平成27年度の主要事業

- ・魅力あるイベント事業の開催（MJF、港まつり、花嫁のれん展）
- ・観光交流センター（仮称）の整備（一本杉町）



分野別目標達成状況

3 教育
1 子ども教育の充実
(1) 子どもの健全育成

担当課	評価ランク
学校教育課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
学校の決まりを守っていないという小学生の割合	25.0%	9.3%	10.0%

この分野における現状

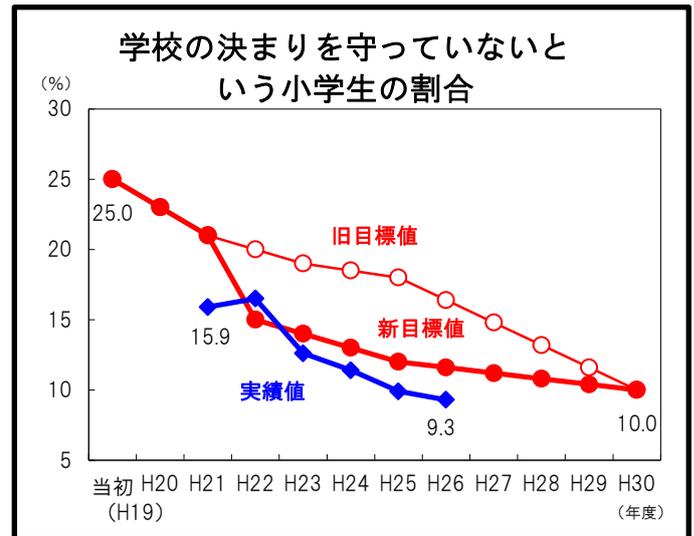
- ・子どもの規範意識や道徳心の低下
- ・核家族化と地域連帯感の希薄化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・道徳教育等の充実
- ・保護者間における意識の格差解消
- ・基本生活習慣の定着
- ・子どもの集団活動の場の設定
- ・学級経営や生徒指導上の格差解消

平成27年度の主要事業

- ・人と地域を生かした道徳教育講座
- ・伸ばせ！七尾っ子プロジェクト
- ・地域で支える学校づくり事業



担当課	評価ランク
学校教育課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
将来の夢や目標がないという中学生の割合	32.0%	20.9%	10.0%

この分野における現状

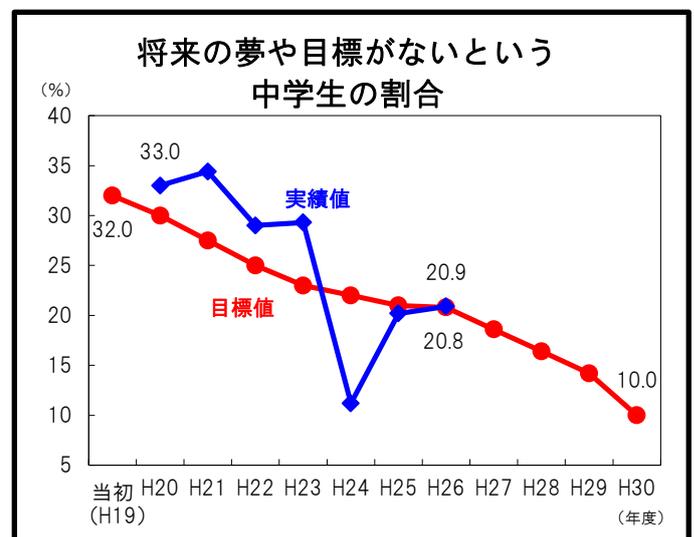
- ・核家族化による地域連帯感の希薄化
- ・子どもの規範意識や道徳心の低下

目標達成に向けた具体的な課題

- ・道徳教育等の充実
- ・学習意欲の喚起
- ・地域・家庭における対話の促進

平成27年度の主要事業

- ・わく・ワーク体験事業（中学校2年生職場体験）
- ・人と地域を生かした道徳教育講座
- ・伸ばせ！七尾っ子プロジェクト
- ・地域で支える学校づくり事業



分野別目標達成状況

3 教育
1 子ども教育の充実
(2) 教育環境の充実

担当課	評価ランク
学校教育課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
中学校における不登校生徒の割合	3.22%	3.40%	1.00%

この分野における現状

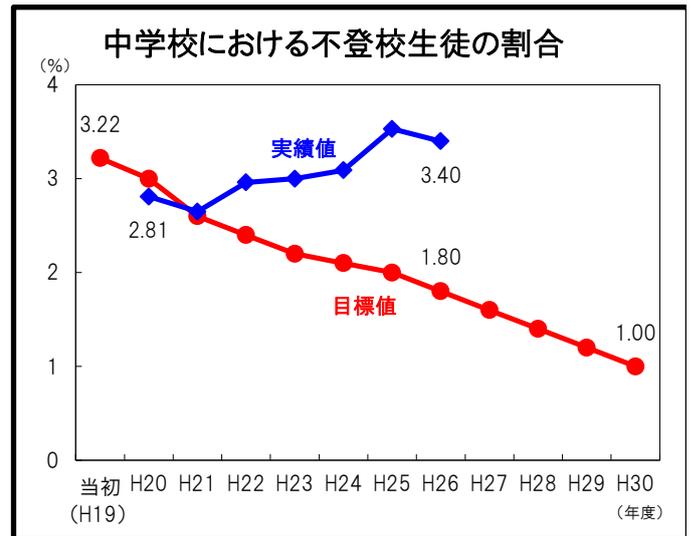
- ・全国的、県内的には増加傾向
- ・不登校に関する背景の多様化
- ・七尾市は2,3年生は継続不登校が多い
- ・七尾市は1年生は新規不登校が少ない

目標達成に向けた具体的な課題

- ・個別対応の充実
- ・1年生の新規不登校生徒への未然防止を2年続けること
- ・人間関係エクササイズ（1年生対象）

平成27年度の主要事業

- ・人間関係エクササイズ（1年生対象）予定
- ・個別対応の充実とわかたけ教室への支援
- ・教育支援センター「わかたけ」の運営



分野別目標達成状況

3 教育
1 子ども教育の充実
(3) 学校教育体制の強化

担当課	評価ランク
学校教育課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
学力調査で市平均が県平均を上回る教科数	4教科	10教科	すべての教科

この分野における現状

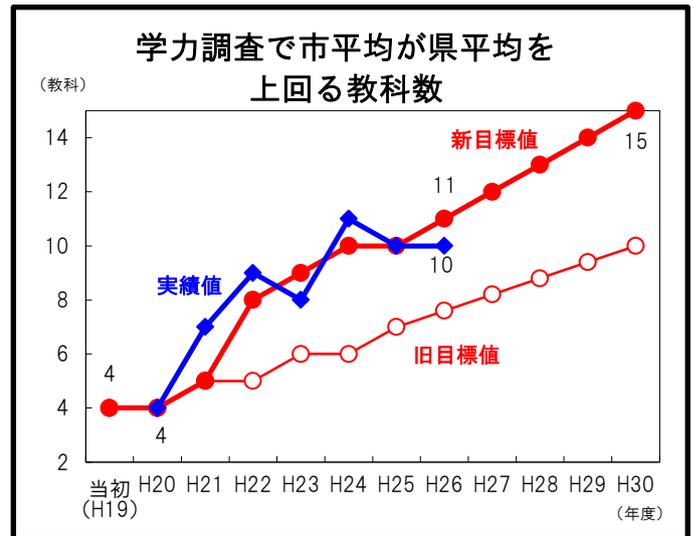
- ・基礎学力の向上
- ・教職員の資質向上

目標達成に向けた具体的な課題

- ・学校の指導體制の確立
- ・学級、学校間の格差解消
- ・ねらいに応じた学習スタイルの確立
- ・家庭学習のあり方

平成27年度の主要事業

- ・七尾市学力向上・授業改善推進会議
- ・学校組織力向上研修会
- ・七尾市学力向上研究事業
- ・七尾市中高連携推進事業（英語力向上研修会）
- ・七尾市小中高連携英語力向上推進事業



担当課	評価ランク
学校教育課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
授業に対する児童生徒の理解度	36.5%	52.6%	70.0%

この分野における現状

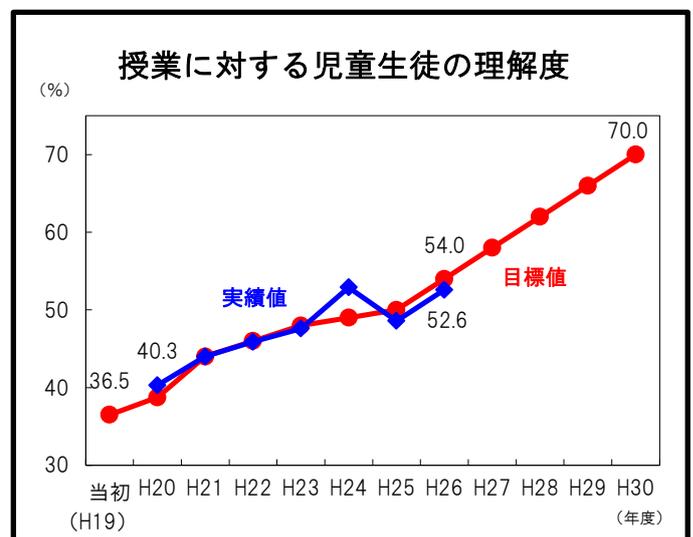
- ・基礎学力の向上
- ・活用力の向上
- ・教職員の資質向上

目標達成に向けた具体的な課題

- ・「わかる楽しい授業」の充実
- ・P D C Aサイクルによる個に応じた学習内容の確実な定着

平成27年度の主要事業

- ・研究主任研修会
- ・七尾市学力向上・授業改善推進会議
- ・学力向上コンサルタントの活用



分野別目標達成状況

3 教育
2 生涯学習・スポーツの振興
(1) 生涯学習の推進

担当課	評価ランク
生涯学習 スポーツ課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
市民一人当たり年間公民館利用回数	3.8回	4.4回	4.5回

この分野における現状

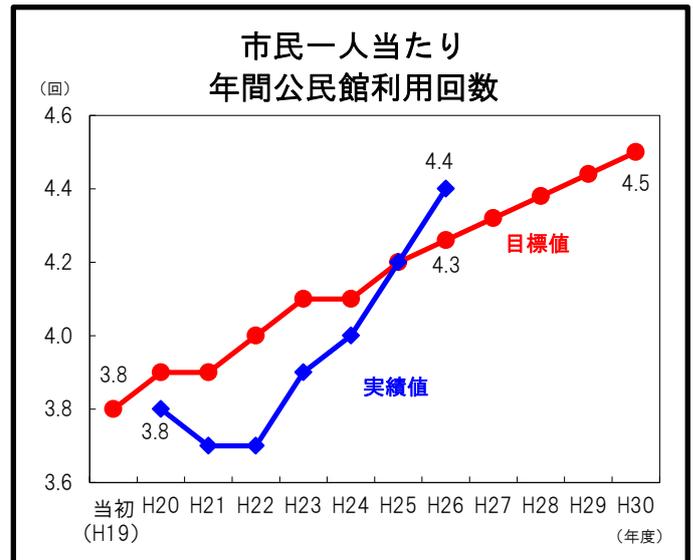
生涯学習に加え、地域づくりの拠点として「コミュニティセンター化」を進めており、機能強化・拡大が求められている。

目標達成に向けた具体的な課題

新たな取り組みとしての「地域づくり事業」について、これまで公民館が培ってきた「学び・出会いの場」機能強化と参加者数の増加が求められる。

平成27年度の主要事業

- ・ 公民館自主活動支援事業
- ・ 公民館管理運営事業
- ・ 公民館連絡協議会運営事業
- ・ 市民大学講座開催事業
- ・ 地域づくり事業



担当課	評価ランク
中央図書館	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
市民一人当たり年間利用冊数	6.2冊	6.8冊	8.0冊

この分野における現状

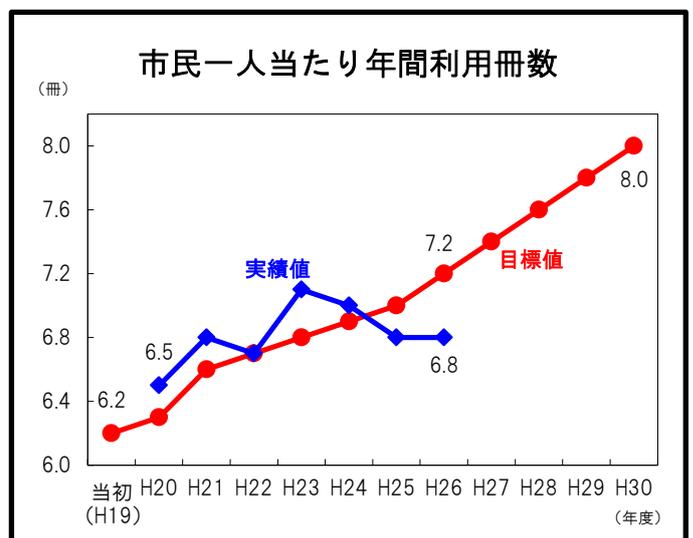
- ・ 1人あたりの貸出数は年代により異なり、特に中学生、高校生の不読率が高い。
- ・ 大人に対して積極的に読書活動の意義について普及啓発を図る。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 大人も子ども読書する楽しさ、本から得た知識、感動を味わえる取組みが必要としている。
- ・ 市民生活で図書館が身近な存在と思える事業とPRを行いニーズに添った情報発信をする。

平成27年度の主要事業

- ・ コミュニティづくりをささえる場
- ・ 市民の学びの場
- ・ 子どもの成長、子育てを支援する場
- ・ 出会いと交流の場



分野別目標達成状況

3 教育
2 生涯学習・スポーツの振興
(2) スポーツの振興

担当課	評価ランク
生涯学習 スポーツ課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
成人の週1回以上のスポーツ実施率(市民アンケート)	23.1%	19.2%	50.0%

この分野における現状

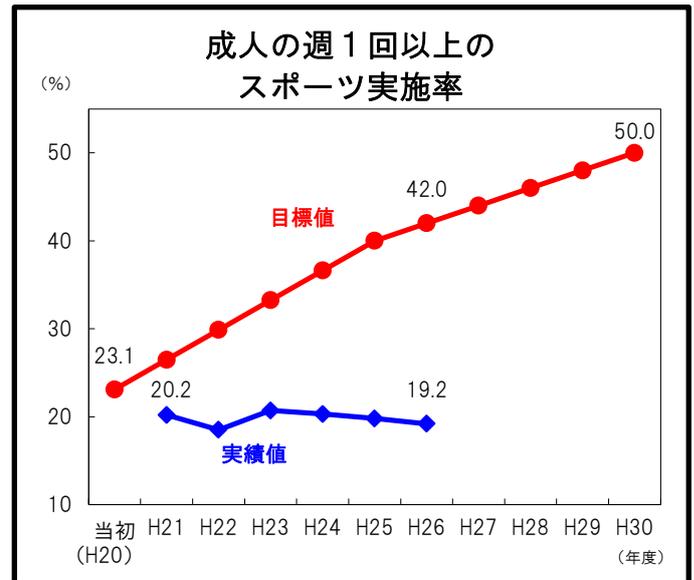
- ・年齢別にスポーツ実施率をみると偏りがあり、20～30歳代の若年層ほど、スポーツ実施率が低い。
- ・スポーツを定期的に行う人とまったく行わない人の二極化が進んでいる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・年代別や地域別などターゲットを絞ったアプローチ及びスポーツ非実施者に対する働きかけを行うこと。
- ・能登島地区のスポーツ非実施者が多く、地域においてスポーツができる環境を整えること。
- ・既存の総合型地域スポーツクラブや健康推進課等関係他課と連携し、手軽に行える運動教室を開催する。
- ・スポーツ推進委員によるニュースポーツ等の普及(出前講座)

平成27年度の主要事業

- ・第11回市民体育大会
- ・第67回石川県民体育大会(七尾市・中能登町開催)
- ・第10回市民スポーツ・レクリエーション祭
- ・総合型地域スポーツクラブへの支援



分野別目標達成状況

3 教育
2 生涯学習・スポーツの振興
(3) 国際交流の推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
姉妹・友好都市との交流人口	149人	82人	170人

この分野における現状

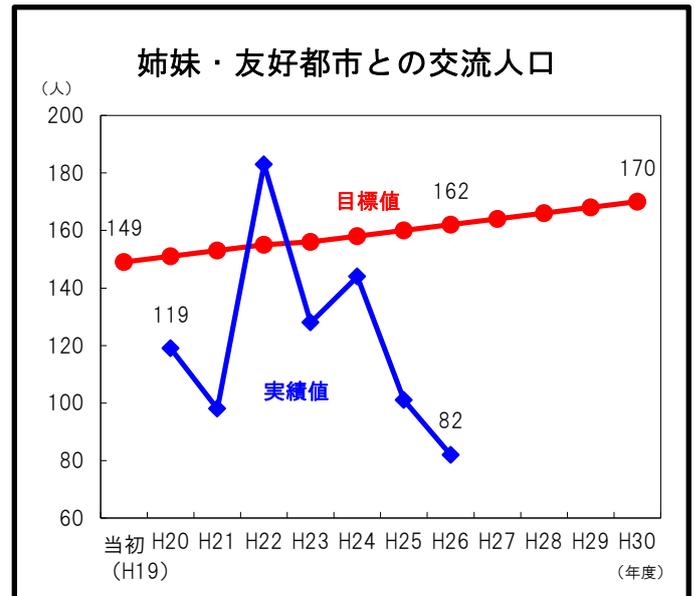
・ 姉妹都市等の交流事業と市内在住外国人との多文化が共生する地域づくりの推進を行っている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 幅広い分野における市民交流の促進
- ・ 多文化共生社会の実現に向けての促進
- ・ 各担当課との連携
- ・ 国際交流協会との連携

平成27年度の主要事業

- ・ モントレー市姉妹都市提携20周年記念交流事業
モントレー市訪問
- ・ 七尾市・金泉市姉妹都市提携40周年記念交流事業
韓・中・日民俗文化フェスティバル参加金泉市訪問
- ・ 多文化共生推進事業（多文化共生サロン・サラダボウル）
- ・ ジュニアウイングスプログラム（派遣・受入）



分野別目標達成状況

3 教育
3 人権尊重・男女共同参画の推進
(1) 人権尊重の推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
お互いの“ちがいを認め合い、人権が尊重されているまちづくりが進んでいると思う市民の割合（市民アンケート）	23.4%	20.7%	28.0%

この分野における現状

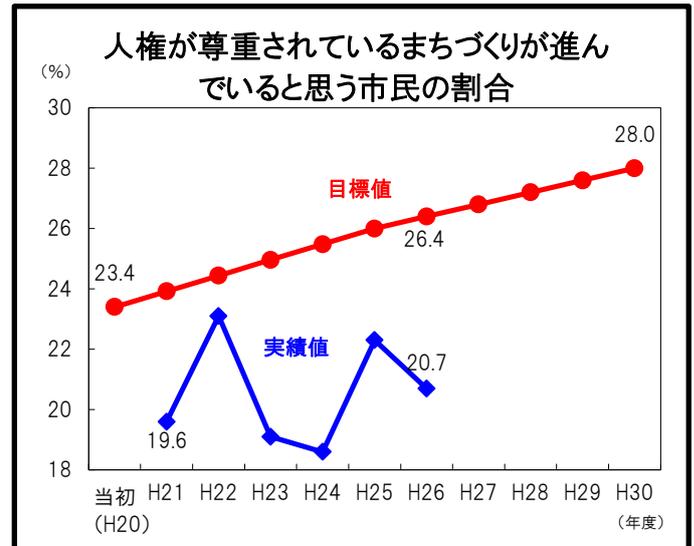
小中学校児童生徒を対象にした人権擁護標語募集や法務局及び人権擁護委員との連携により保育園、小中学校、街頭等での啓発活動を定期的に行う。また、民生児童委員と人権擁護委員により毎週水曜日に市民相談を受け市民の安心安全に努める。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・いじめや虐待、DV等の人権侵害が絶えない。インターネットによる人権問題が発生している。
- ・市民相談が複雑、多様化している。市民へ相談事業の周知を図る。

平成27年度の主要事業

- ・小中学生人権擁護啓発標語募集
- ・市民のつどい人権・男女共同参画講演会開催
- ・法務局、人権擁護委員との連携による人権啓発活動
- ・人権学習用DVD無料貸出



分野別目標達成状況

3 教育
3 人権尊重・男女共同参画の推進
(2) 男女共同参画の推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
男女共同参画が進んでいると思う市民の割合（市民アンケート）	27.8%	23.2%	33.0%

この分野における現状

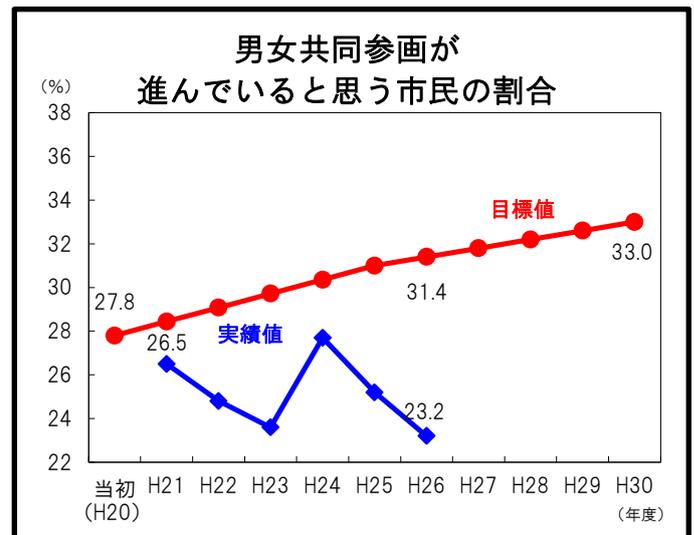
男女共同参画の重要性は認識されてきているものの、家庭・地域・職場など各分野において、十分に理解されていない面もある。審議会等への女性の登用率は少しずつ向上し、目標値の30%を達成している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・男女共同参画社会の実現に向けた意識の改革
- ・家庭・地域・職場などにおける男女共同参画の促進
- ・男女がいきいきと活動できる環境づくり
- ・女性の登用のない審議会等の解消

平成27年度の主要事業

- ・第3次七尾市男女共同参画推進プランの策定
- ・男女共同参画推進員及び関係団体の研修会の開催
- ・男女共同参画の啓発（4コマまんが等の作品募集、公民館での推進事業の実施、事業所訪問、つどいの開催）



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
1 歴史・伝統文化の振興
(1) 歴史・文化遺産の保全と活用

担当課	評価ランク
文化課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
歴史・文化遺産が守られていると思う市民の割合 (市民アンケート)	53.6%	54.4%	60.0%

この分野における現状

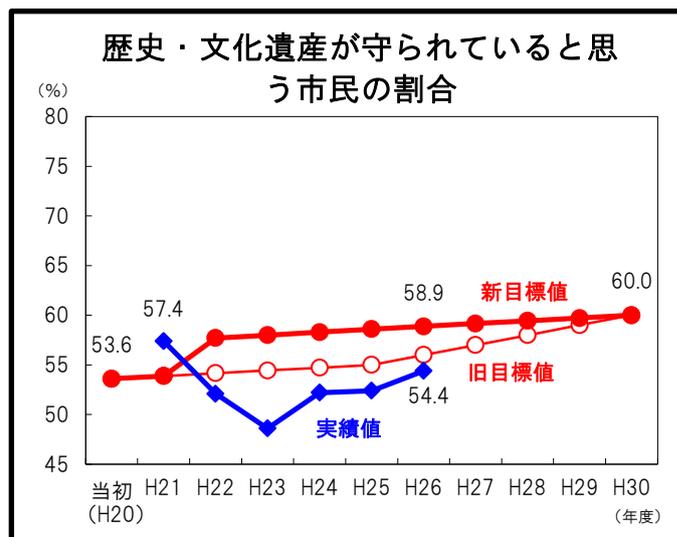
・H26市民アンケートでは、「歴史・文化遺産」の充実度が34項目中3位と高い反面、重要度は34項目中29位と低い。

目標達成に向けた具体的な課題

・「歴史・文化遺産」は過去の遺産でなく、現在においても教育観光素材として活用すべき重要な資産であるとの認識の普及を啓発する取り組み。

平成27年度の主要事業

- ・七尾学推進事業（第7回七尾検定）
- ・文化財保存事業（文化財保存修理事業）
- ・博物館建設事業（展示設計）
- ・史跡七尾城跡土地買い上げ事業（1.7ha）



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
1 歴史・伝統文化の振興
(2) 伝統的祭り行事の振興

担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成26年)	平成30年
七尾四大祭り入り込み客数	204,000人	153,000人	300,000人

この分野における現状

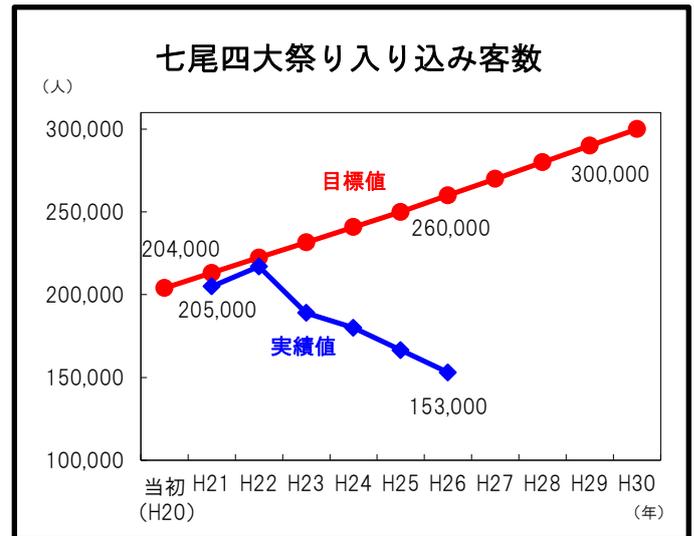
観光雑誌等で祭り情報を全国に発信し、観光客の誘客促進に取り組んでいる。また、交通アクセスの向上から入込客が増加し、多様化する観光客ニーズに対応するため、観光案内所・祭りガイドの配置、臨時駐車場の増加、シャトルバス送迎、誘導案内看板の設置等といった受入れ体制の強化を図っている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・観光イベントに参加しての市外へ向けたPRの強化
(観光ブースの出店、旅行雑誌の掲載)
- ・受入れ体制の充実(祭りガイドの育成、観光案内所設営等)

平成27年度の主要事業

- ・四大祭りの開催事業補助
- ・ポスター、パンフレットの作成、配布
- ・青柏祭PRキャラバン隊の訪問
- ・観光案内所設営・シャトルバス送迎



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
2 芸術文化の振興
(1) 優れた芸術・文化体験の創出

担当課	評価ランク
文化課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
七尾美術館観覧者数	23,348人	27,064人	41,000人

この分野における現状

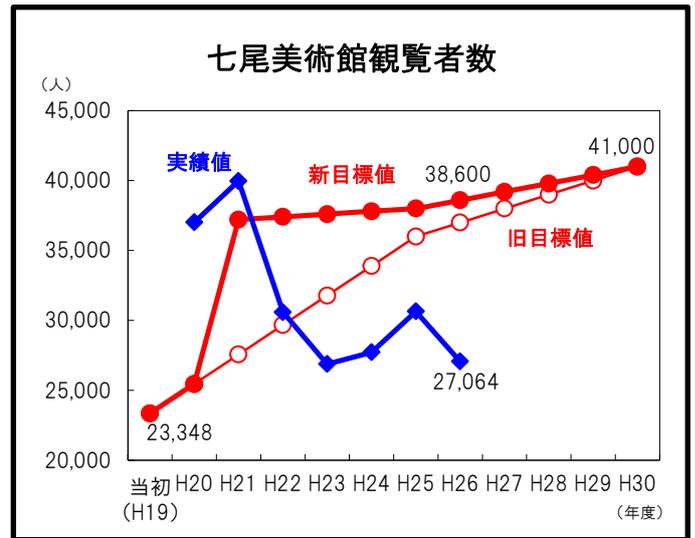
長谷川等伯の人気があり、作品観覧に訪れる方も多い中、作品保護の重要性もあり頻りに展示が出来ない。複製作品においても本物同様に扱わなければならない。その他、等伯の残された作品も多い訳ではない。

目標達成に向けた具体的な課題

・観覧者数増に繋がる、より魅力的な展覧会の企画を開催する。

平成27年度の主要事業

- ・長谷川等伯展～日本障壁画の最高傑作「楓図」公開～
- ・長谷川等伯の水墨画を中心に
- ・2015イタリアポローニャ国際原画展
- ・現代美術展・新寄附作品初公開-池田コレクションの名品-



担当課	評価ランク
文化課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
能登島ガラス美術館観覧者数	43,078人	38,360人	60,000人

この分野における現状

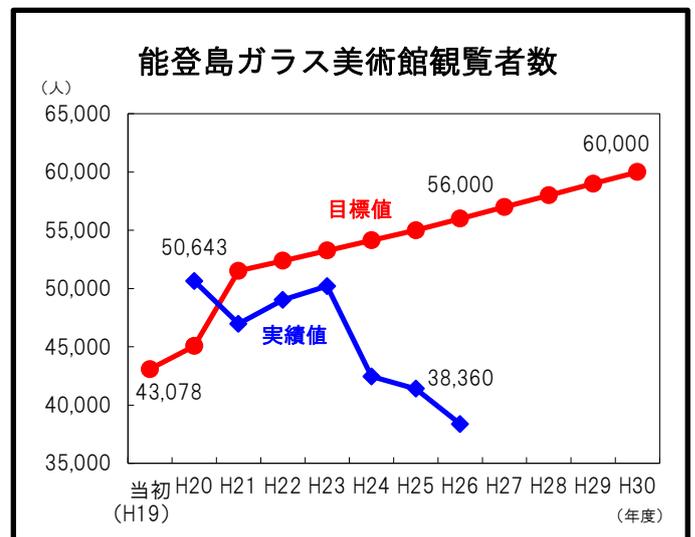
・北陸新幹線金沢開業となったが、能登島ガラス美術館の来館者増となっておらず、他施設と一体となる来館者を取り込む手法が必要。

目標達成に向けた具体的な課題

・来館者ニーズを取り入れた展覧会事業の企画実施・リピーター者増に向けた取組み・富山にガラス美術館が開館となったことによる競合策。

平成27年度の主要事業

- ・アール・ヌーヴォーのガラス～ガレ、ドームが愛した自然・Let's enjoy! 現代ガラス～不思議な世界へ出かけよう～
- ・3つのテーマでみる能登島ガラスコレクション展・～ダリも魅せられた神秘の技法～パート・ド・ヴェール展



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
2 芸術文化の振興
(2) 地域に根ざした演劇文化の振興

担当課	評価ランク
文化課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
能登演劇堂鑑賞者数	19,231人	12,642人	28,800人

この分野における現状

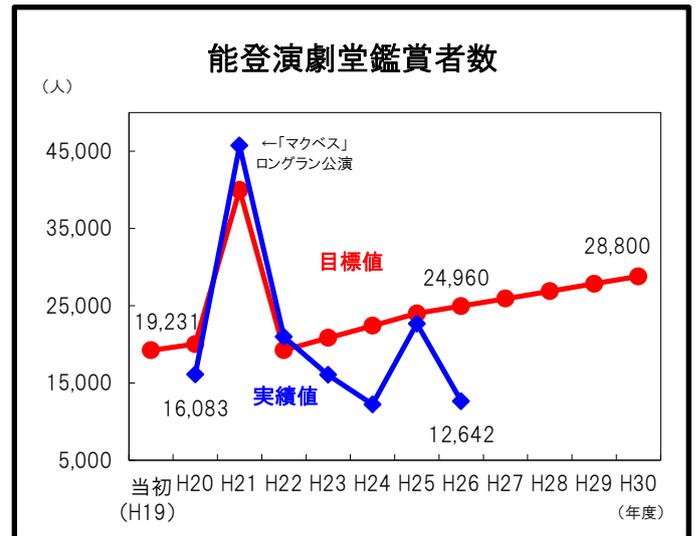
演劇公演のほか、狂言、ミュージカルなど様々な演目を行い、利用者の芸術文化の普及に活用している。引き続き演劇以外の魅力的な演目と宣伝などの持続的な周知を行うことで利用者の増加を目指す。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・演劇以外の魅力的な演目を企画する
- ・友の会員の獲得に務める

平成27年度の主要事業

＜公演事業＞「若村麻由美の劇世界」、「蜜柑とユウウツ」、「トロイラスとクレシダ」、「おれたちは天使じゃない」「書く女」ほか
 ＜教育普及事業＞「2015能登演劇堂ワークショップ」、「小学生アウトリーチ」



分野別目標達成状況

5 自然環境
1 自然環境・景観の保全
(1) 自然環境の保全

担当課	評価ランク
環境課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
七尾市の豊かな自然環境が守られていると思う市民の割合 (市民アンケート)	41.3%	43.0%	60.0%

この分野における現状

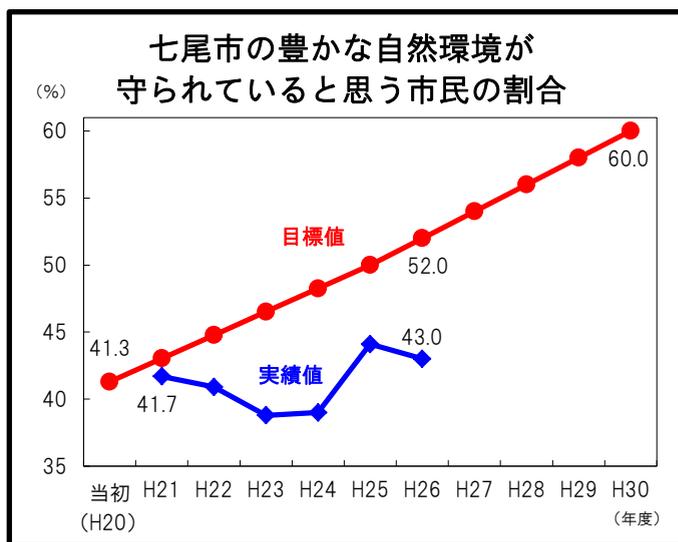
・水生生物による水質調査ではのべ21地点中15地点がとてもきれいな水と判定され、また希少種も現在35種が確認され、市内では豊かな自然環境がいまも残っている。

目標達成に向けた具体的な課題

・豊かな自然がある一方、市民へのPR不足が課題となっている。
 ・PRをするにあたって、自然環境や希少種のさらなる調査、把握が必要となっている。

平成27年度の主要事業

・環境の現況を作成、市民へ広報
 ・水質調査 (海域、河川、湖沼、地下水、名水)
 ・希少種調査
 ・小中学校が主体に実施する水生生物による水質調査



分野別目標達成状況

5 自然環境
1 自然環境・景観の保全
(2) 魅力ある景観の形成

担当課	評価ランク
都市建築課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
七尾らしい魅力ある景観が形成されていると思う市民の割合（市民アンケート）	32.7%	40.7%	45.0%

この分野における現状

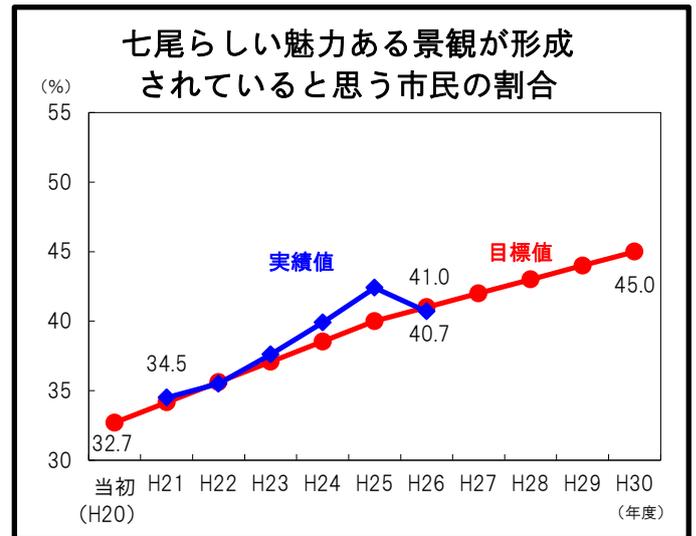
経済活動に伴う開発や建物の建て替えなどで、年々七尾らしい景観が失われてきている。このため、七尾市景観計画に基づき、規制誘導を行っている。

目標達成に向けた具体的な課題

景観に対する意識は年々高まってきているが、守るべき景観とは何か、何をすべきなのか分からず、具体的な景観活動につながっていない状況である。

平成27年度の主要事業

- ・ 景観まちづくり活動支援事業
- ・ 屋外広告物等修景促進事業
- ・ 第4回「ななお景観賞」の実施
- ・ 第8回景観写真展の実施



分野別目標達成状況

5 自然環境
2 地球環境の保全
(1) 地球温暖化対策の推進

担当課	評価ランク
環境課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
家庭において温暖化防止対策の取り組みにより削減したCO ₂ の量	10,606kg	84,477kg	117,129kg

この分野における現状

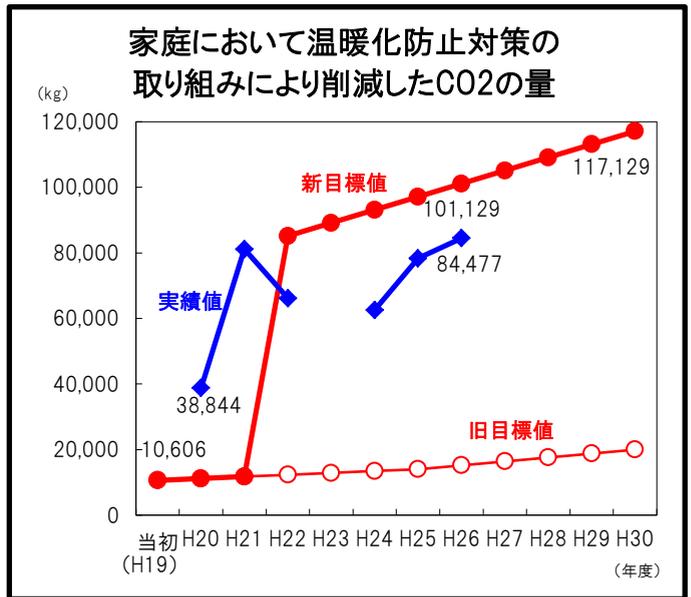
- ・平成24年度から、いしかわ版環境ISO省エネ・節電アクションプランに参加。平成26年度は、市内2,915家庭、24団体が取組に参加した。
- ・いしかわクールシェアに参加。24施設が登録し、のべ3,526人がスタンプラリーに参加し来館した。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・地球温暖化対策に向けた実践活動のPR不足。
- ・市民へ向けたわかりやすい事業の提案。
- ・県が実施する「省エネ・節電アクションプラン」や「いしかわクールシェア」への積極的な参加の呼びかけ。

平成27年度の主要事業

- ・省エネ・節電アクションプランへの参加。
- ・いしかわクールシェア対象施設の推進。



分野別目標達成状況

5 自然環境
2 地球環境の保全
(2) 循環型社会の形成

担当課	評価ランク
環境課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
リサイクルごみ回収率	18.6%	18.1%	25.0%

この分野における現状

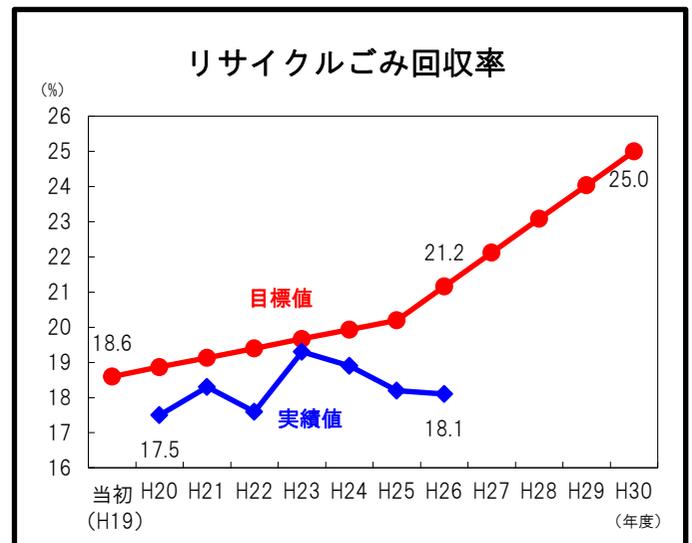
- ・資源ごみの収集量は年々減少している。
- ・再生事業者や小売店等が設置する民間リサイクルステーションが増加している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・民間リサイクルステーションによる拠点回収量が不明

平成27年度の主要事業

- ・資源ごみ集積所「え〜こ屋」の設置事業
- ・資源物回収事業推進奨励金交付事業
- ・小型家電28品目分別変更（埋立ごみ→金物類）



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
1 子育て・子育て環境の充実
(1) 子育て支援体制の充実

担当課	評価ランク
子育て支援課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
子どもを生き育てやすい環境が整っていると思う市民の割合（市民アンケート）	30.6%	26.8%	50.0%

この分野における現状

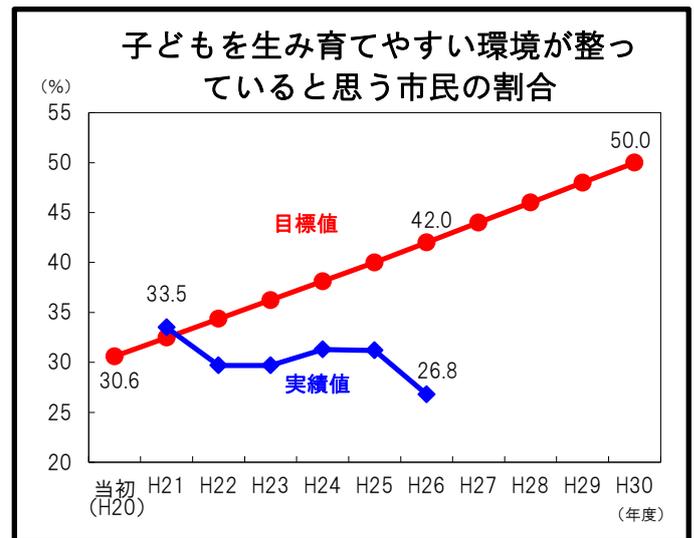
- ・核家族化が進展、保育ニーズはますます多様化している。
- ・離婚に伴うひとり親家庭が増加傾向にある。
- ・市内の公立、私立すべての保育園で延長保育、一時預かりを実施。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・保育ニーズの多様化への対応
(休日保育実施箇所の増、延長保育の拡充等)
- ・子育てにかかる経済的負担の軽減
(保育料軽減、子ども医療費助成制度拡充等)
- ・ひとり親家庭の増加への対応(ひとり親家庭支援制度の拡充)

平成27年度の主要事業

- ・特別保育事業
(一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育等)
- ・認定こども園事業
- ・放課後児童クラブ事業
- ・子ども医療費助成事業



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
1 子育て・子育て環境の充実
(2) 子ども親も共に育つ環境づくりの推進

担当課	評価ランク
子育て支援課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
子育て支援拠点施設利用人数	16,754人	27,692人	24,500人

この分野における現状

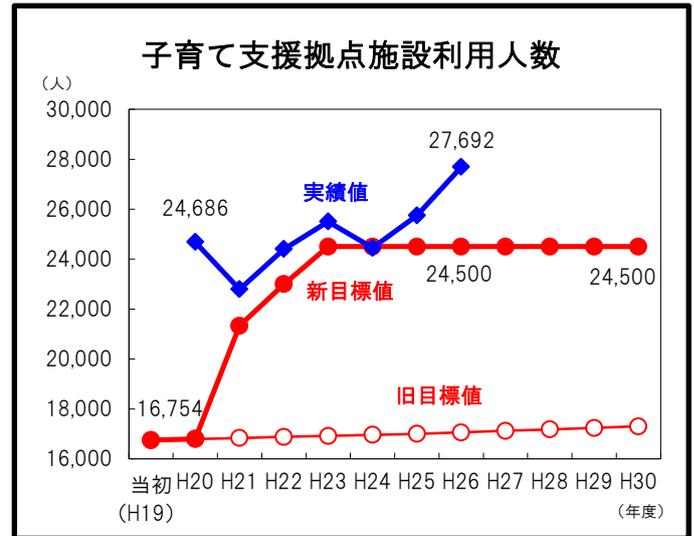
- ・核家族化などにより、子どもたちが集団で遊ぶ機会が減少している。
- ・子育てに係るストレスや家庭における養育力の低下が見られる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・子育て拠点施設の機能の充実
(地域へ出向いての出張ひろばの実施等)
- ・利用しやすい環境づくり (施設の改修、対象世帯への啓発活動)
- ・地域の子育て力を高める取り組みの実施
(ボランティア等の人材育成と活動支援)

平成27年度の主要事業

- ・子育て拠点事業 (地域子育て支援センター)
- ・みらい子育てネット (母親クラブ) 運営事業
- ・児童館管理運営事業
- ・児童公園管理事業
- ・ファミリーサポートセンターの運営



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
1 子育て・子育て環境の充実
(3) 母子保健の充実

担当課	評価ランク
健康推進課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
(修正) 育児の心配・困りごとがある保護者の割合	12.1%	9.4%	8.0%

この分野における現状

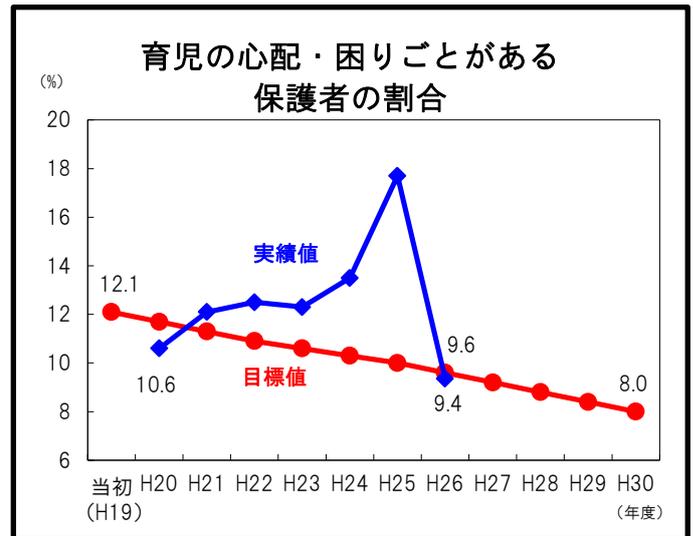
核家族化の進行等により、身近に相談相手や支援する人がおらず、育児に関する不安から子育てのストレスに繋がりがやすい。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・初めての子育てによる育児不安の解消
- ・子どもの成長に伴う育児不安の解消
- ・保護者の育児力の育成
(子どもの発達の理解と対応に対する学習が不足している)

平成27年度の主要事業

- ・こんにちは赤ちゃん訪問事業
- ・養育支援家庭訪問事業
- ・すくすく相談
- ・母の相談日・ゆったり子育て相談
- ・のびのび教室(7か月児)
- ・もぐもぐ教室(10か月児)



担当課	評価ランク
健康推進課	S

指標名	当初 (平成22年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
(修正) 毎日朝食を食べる習慣のある子どもの割合	92.9%	100.0%	100.0%

この分野における現状

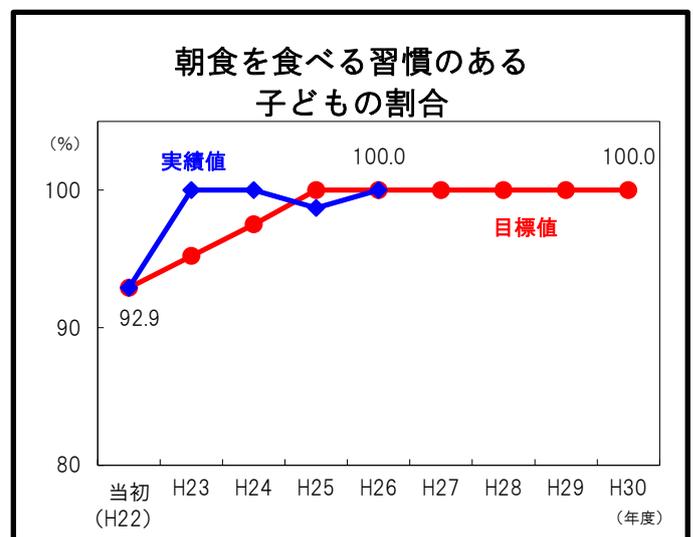
毎日朝食を食べる習慣のある子どもは定着したが、食事内容(主食のみ、菓子パン、菓子類)や環境(孤食)に課題がある。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・保護者が「食べる」ことの大切さを認識し、「食」を通して子どもを育てる。
- ・子どもが3食摂取の習慣を身につける。
- ・食事内容と環境の改善

平成27年度の主要事業

- ・保育園等における食育
- ・3歳児健診での食指導
- ・子育て相談での食指導
- ・もぐもぐ教室(10か月児)



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
2 健康づくり・医療の充実
(1) 生涯を通じた健康づくりの推進

担当課	評価ランク
健康推進課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
肥満の割合 (BMI 25以上) : H20~七尾市国保特定健康診査	32.0%	29.0%	12.0%

この分野における現状

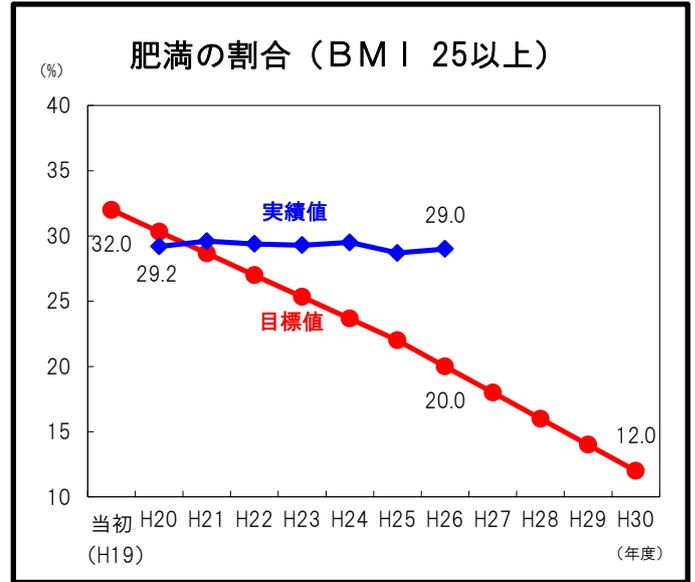
肥満の割合 BMI 25以上	
H22年度(確定値)⇒29.4%	ワースト3位/県内19市町
H23年度(確定値)⇒29.3%	ワースト3位/県内19市町
H24年度(確定値)⇒28.5%	ワースト3位/県内19市町
H25年度(確定値)⇒28.7%	ワースト3位/県内19市町
H26年度(確定値)⇒29.0%	ワースト3位/県内19市町

目標達成に向けた具体的な課題

生活習慣が要因がほとんどであり、生活習慣改善意識には個人差がある。肥満が要因で高血圧、高血糖、高脂質の所見が重なり、重症化する場合がある。また、個々に生活習慣、食生活が異なるため、個々に応じた保健指導等に重点を置く必要がある。

平成27年度の主要事業

- ・健康相談事業
- ・特定保健指導事業
- ・訪問指導事業
- ・各地区健康教室
- ・生活習慣改善教室



担当課	評価ランク
健康推進課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
ストレスを感じている市民の割合 (市民アンケート)	76.2%	67.3%	50.0%

この分野における現状

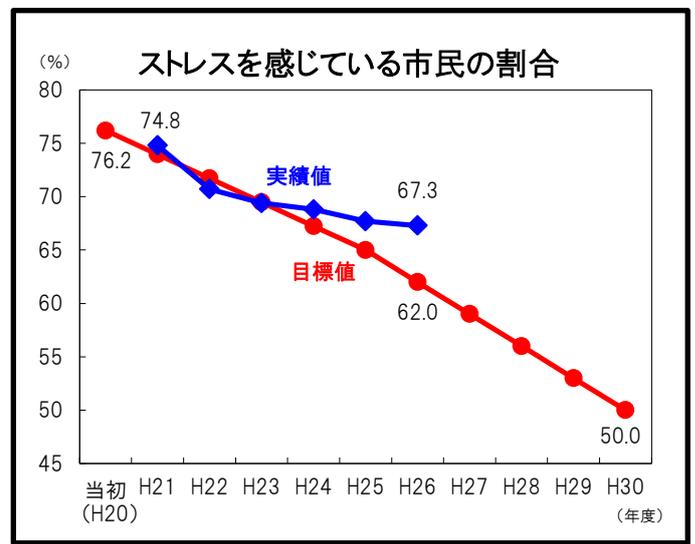
・家庭や職場、対人関係などにおいて、多くの市民はストレスを抱えて生活しています。近年、多様化、複雑化する社会の中でストレスが増大し、心の健康を崩す市民が増えている。

目標達成に向けた具体的な課題

・家族や周囲の人の心の変化に気づき、声かけ、傾聴、(関係機関に)つなぎ、見守る、命の門番であるゲートキーパーの普及浸透が必要である。

平成27年度の主要事業

- ・心の相談事業
- ・こころの健康づくり教室
- ・心の健康スクリーニング
- ・訪問指導事業
- ・メンタルヘルス講演会
- ・ゲートキーパー普及事業



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
2 健康づくり・医療の充実
(2) 医療体制の充実

担当課	評価ランク
保険課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
医療体制が充実していると思う市民の割合（市民アンケート）	49.8%	58.9%	62.0%

この分野における現状

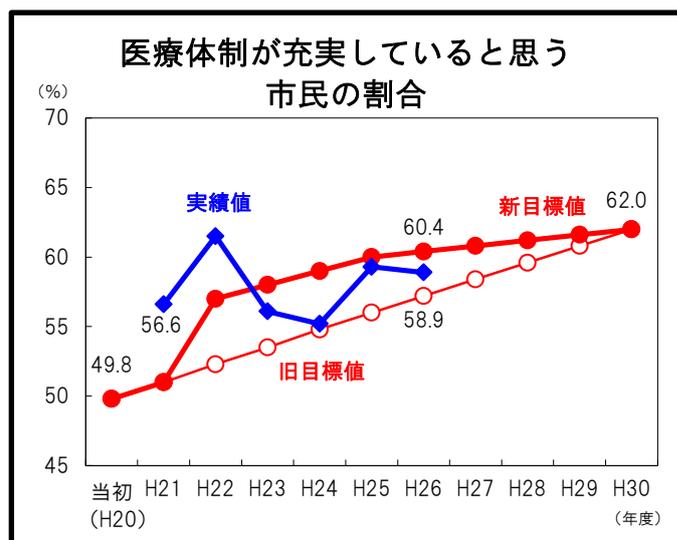
- ・ 深刻な医師不足による地域医療の停滞
- ・ 医療費の増大
(国民健康保険・後期高齢者医療保険)

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 地域医療体制の充実
- ・ 生活習慣病対策及び医療費適正化対策の推進

平成27年度の主要事業

- ・ 公立能登総合病院の運営支援
- ・ ジェネリック医薬品差額通知の実施
- ・ 特定健診未受診者対策、腎疾患・糖尿病対策の強化



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
3 高齢者福祉の充実
(1) 高齢者の自立と社会参加の促進

担当課	評価ランク
福祉課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
「いきがい」を感じて日常生活を送っている高齢者の割合（市民アンケート）	63.4%	59.2%	70.0%

この分野における現状

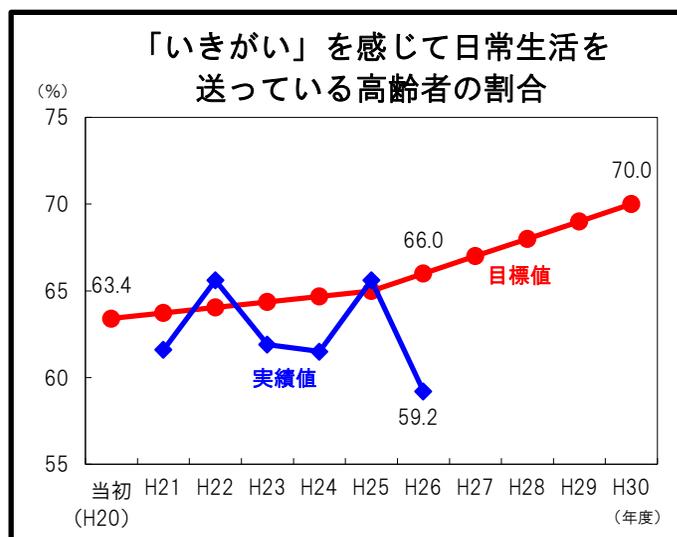
- ・高齢者の自主活動として、老人クラブが101クラブ活動中。
- ・また、高齢者グループデイが5グループ活動中。
- ・高齢者が活躍できる場として、シルバー人材センターでの活動が挙げられる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・高齢者が自身の知識や経験を活かし、活躍できる場の拡大
- ・高齢者が身近な場所でいきいきと活動できる場の充実
- ・高齢者の健康づくりの推進
- ・高齢者が安全に安心して生活できる環境づくり
- ・高齢者の権利擁護の啓発、相談体制の充実

平成27年度の主要事業

- ・介護支援ボランティアポイント事業
- ・グループデイ事業等の介護予防事業
- ・認知症などの要援護高齢者支援事業
- ・生涯現役推進事業
- ・就労や軽スポーツを通じての生きがいの高揚
- ・地域で気軽に参加できる機会や活動の場づくり



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
3 高齢者福祉の充実
(2) 介護支援体制の充実

担当課	評価ランク
保険課	特A

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成26年)	平成30年
要介護・要支援認定率	17.4%	18.2%	22.0%

この分野における現状

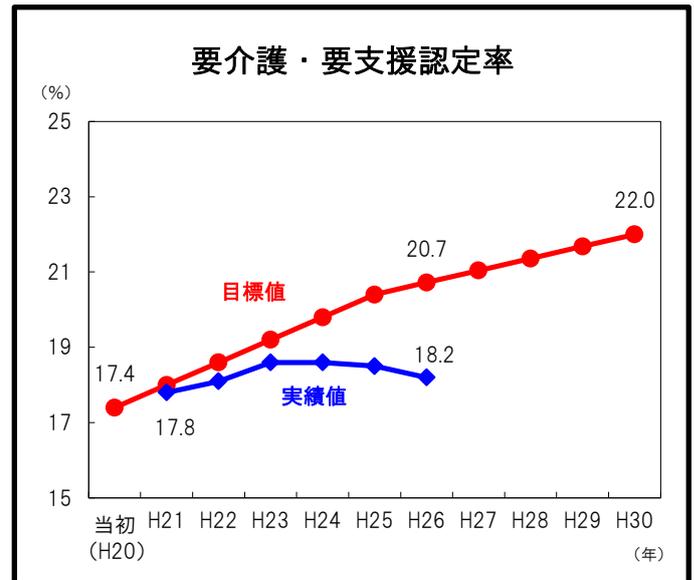
・要介護・要支援認定者は、年々増加しており、介護給付費も年々増加している。
 ・介護予防や在宅介護支援、高齢者の総合相談窓口機能の充実にむけ取り組んでいる。

目標達成に向けた具体的な課題

・介護予防対象者の早期把握及び介護予防事業の充実
 ・市民の自立支援への意識改革
 ・地域包括支援センター機能の充実

平成27年度の主要事業

・二次予防事業の対象者の把握事業
 ・介護予防事業（二次予防事業、一次予防事業）
 ・地域包括支援センター運営事業
 ・在宅医療・介護連携推進事業
 ・認知症対策の推進



※実績値の数値が低ければ目標達成率が良い。

分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
4 障害者福祉の充実
(1) 障害者の自立と社会参加の促進

担当課	評価ランク
福祉課	B

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成26年)	平成30年度
障害者雇用率	1.89%	1.92%	2.20%

この分野における現状

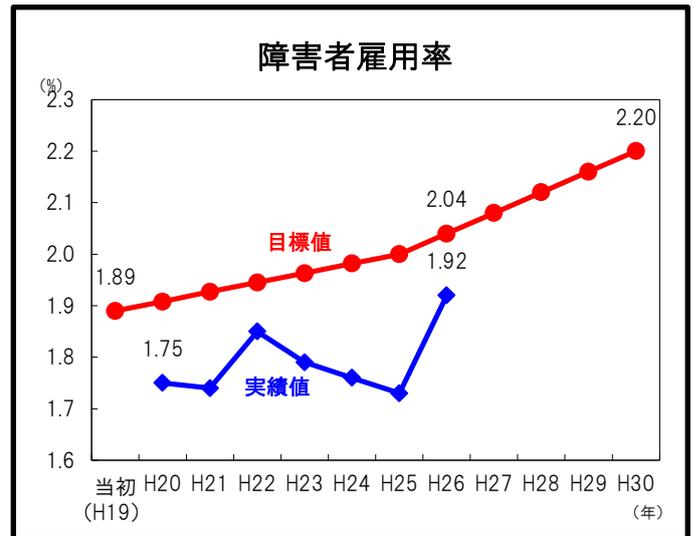
- ・七尾・中能登地区の雇用情勢は改善してきているものの、障害者雇用にはまだ及んでいない。
- ・障害者雇用率を上昇させるための障害者の就労支援制度を運用するなどの取り組みを継続実施している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・公共職業安定所との連携をさらに図り、障害者雇用枠での採用や職場実習の受け入れについて各企業経営者に理解を求める。
- ・障害の特性を理解してもらうための啓発を行う

平成27年度の主要事業

- ・七尾市・中能登町地域自立支援協議会の取組推進（職場体験実習制度の導入、模擬面接会の実施）
- ・障害者福祉団体連絡協議会との連携強化



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
4 障害者福祉の充実
(2) 生活支援体制の充実

担当課	評価ランク
福祉課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
障害者が暮らしやすい環境が整っていると思う市民の割合（市民アンケート）	23.6%	24.8%	51.0%

この分野における現状

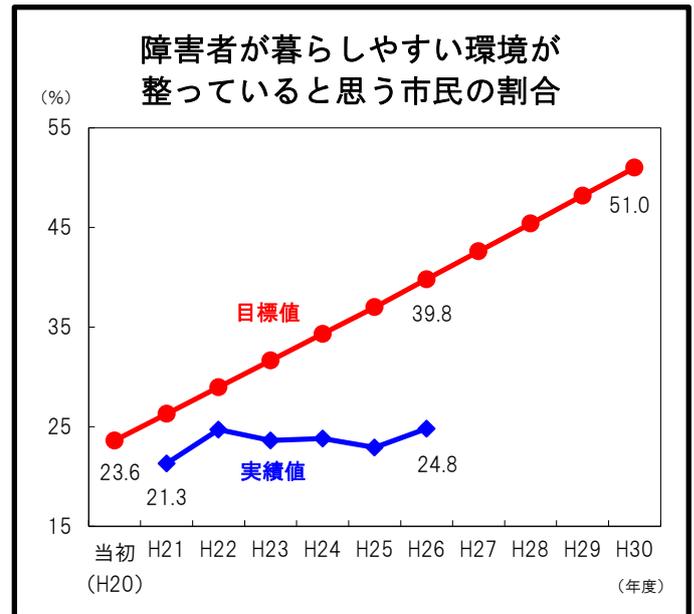
障害者が自立した日常生活や社会生活を営む事ができる体制の確保が求められている。

目標達成に向けた具体的な課題

地域における障害者の生活支援の充実、障害者とその家族などへの相談支援体制の充実などが必要。

平成27年度の主要事業

- ・手話通訳者の設置によるコミュニケーション支援
- ・障害者福祉サービスの充実による地域における生活の支援
- ・七尾市・中能登町地域自立支援協議会や各種団体との連携強化



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
5 地域福祉・生活保障の充実
(1) 地域福祉の充実

担当課	評価ランク
福祉課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
支え合い、助け合うという意識が地域にあると思う市民の割合（市民アンケート）	44.0%	47.5%	58.0%

この分野における現状

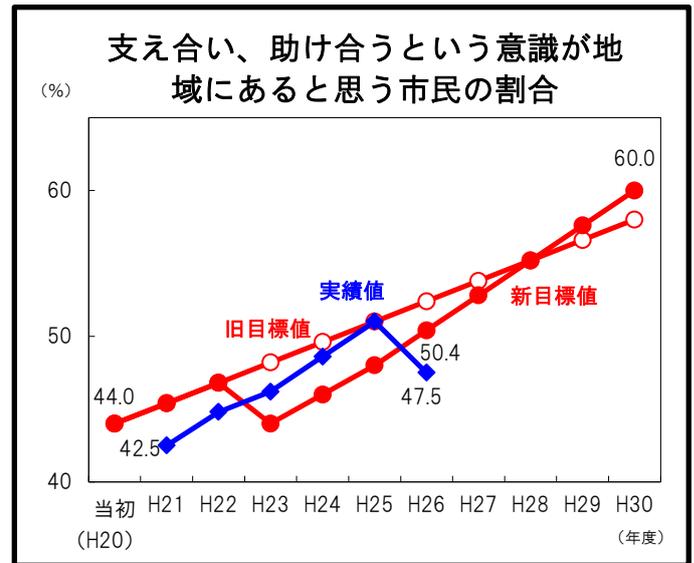
・人口減少や少子高齢化などが進んでいる中で、地域社会のつながりが希薄化し、地域に対する関心が低下している。
 ・しかし、「お互いに支え合う地域づくり」に向け、町会単位による支えあいのしくみづくりの構築が徐々に進んできている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・町会単位を基本とした地域福祉ネットワークの構築
- ・住民が主体となって様々な生活・福祉課題に取り組むための支援法
- ・課題に対応するための支援体制と福祉サービスの充実

平成27年度の主要事業

- ・地域福祉ネットワークづくりの推進
- ・平成27年度地域で支える福祉のまちづくり事業
- ・支え合いマップづくり事業の推進
- ・地域福祉リーダーの育成
- ・地区福祉懇談会の実施(15地区)



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
1 防災対策の充実
(1) 防災体制の整備

担当課	評価ランク
防災交通課	特A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
自主防災組織数	12町会	225町会	251町会

この分野における現状

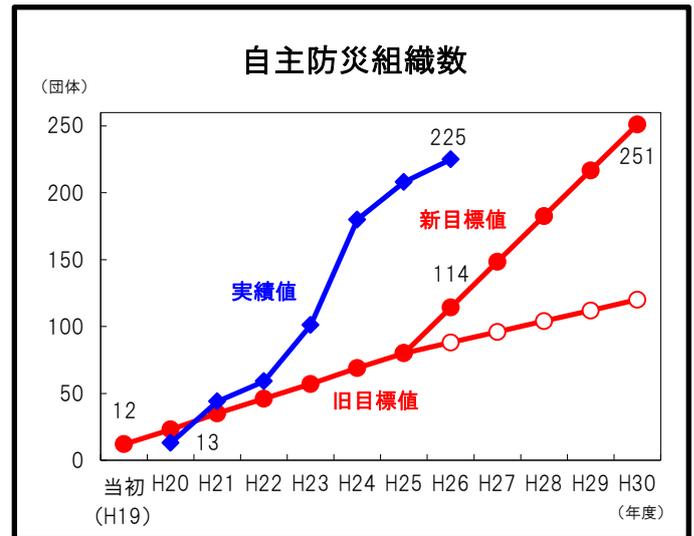
・東日本大震災以降、自主防災組織の結成率が急激に伸びている。現在、自主防災組織の結成率は約90%である。(H27.3末現在)

目標達成に向けた具体的な課題

- ・活動に対する住民意識の不足
- ・高齢化や昼間の活動要員の不足
- ・防災リーダーの育成および、地域における防災士の役割の明確化

平成27年度の主要事業

- ・防災倉庫及び防災資機材等における財政支援
- ・自主防災組織における防災訓練の支援
- ・消防分団長以上による防災士の登録



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
2 住環境の充実
(1) 住宅・緑地の整備

担当課	評価ランク
都市建築課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
良好な住環境が形成されていると思う市民の割合 (市民アンケート)	38.6%	35.4%	50.0%

この分野における現状

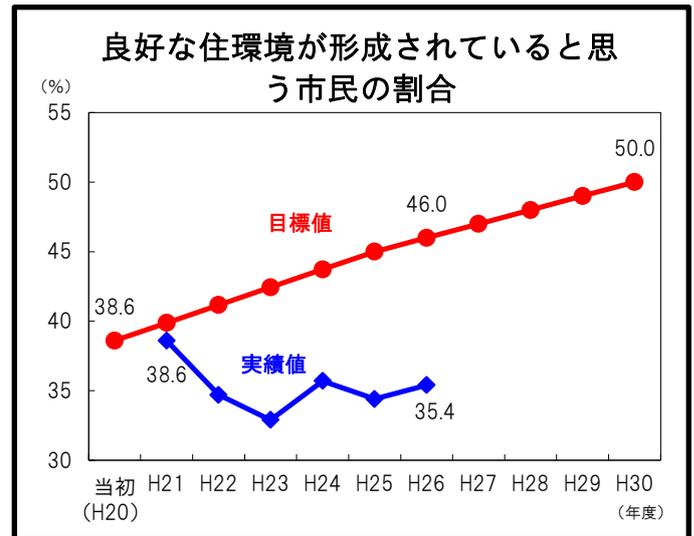
安全、安心のベースとなる防災上必要な6m道路に接していなかったり、身近な憩いの場となる公園や緑地が十分とはいえず、入居希望者の需要がある公営住宅では老朽化が進んでいる。

目標達成に向けた具体的な課題

住宅地での新規公園等の整備は困難であり、身近な公園ではトイレや遊具の老朽化が進み、有効に活用されていない。また、老朽化が進む公営住宅の整備が必要とされている。

平成27年度の主要事業

- ・七尾市万行地区土地区画整理事業
- ・さくらの名所づくり推進事業
- ・住宅取得奨励金
- ・公営住宅等ストック総合改善事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
2 住環境の充実
(2) 防犯・交通安全対策の充実

担当課	評価ランク
防災交通課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
自主防犯組織数	20団体	14団体	24団体

この分野における現状

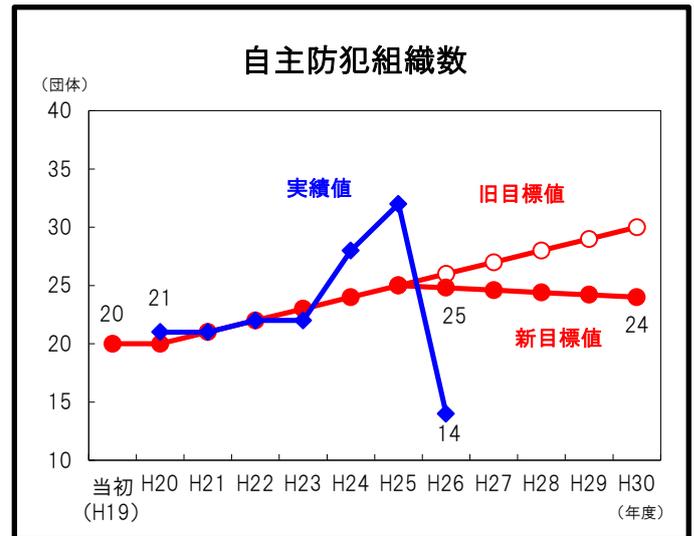
各小学校に所属する見守りっこ隊等は、小学校数の減少に伴い団体数が減少した。また、自主防犯組織は七尾鹿島防犯協会に所属する防犯委員会とし、各公民館単位で防犯委員会を結成できるよう警察と協力して呼びかけていく。

目標達成に向けた具体的な課題

市内、22公民館単位ごとで組織化された自主防犯組織の設立。

平成27年度の主要事業

- ・ 各種防犯キャンペーン補助
- ・ 地域防犯リーダー育成研修会
- ・ 振込め詐欺被害防止広報



担当課	評価ランク
防災交通課	特A

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成26年)	平成30年
交通事故発生件数(人身事故)	229件	121件	100件

この分野における現状

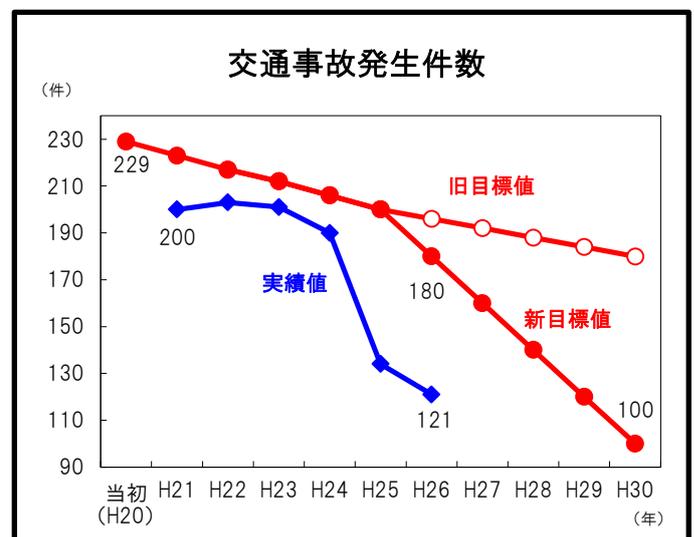
- ・ 交通事故発生件数は対前年比 13件減

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ ドライバーのマナー・モラルの向上
- ・ 夜行反射材の着用促進
- ・ 自転車運転者の交通ルールの遵守
- ・ 飲酒運転の根絶

平成27年度の主要事業

- ・ 幼児交通安全教室
- ・ 高齢者交通安全教室
- ・ 各種交通安全キャンペーン
- ・ 高齢者運転免許証自主返納事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
3 生活環境の充実
(1) 環境衛生の推進

担当課	評価ランク
環境課	B

指標名	当初 (平成18年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
1人1日当たりのごみ排出量	1,171g/人・日	1,063g/人・日	995g/人・日

この分野における現状

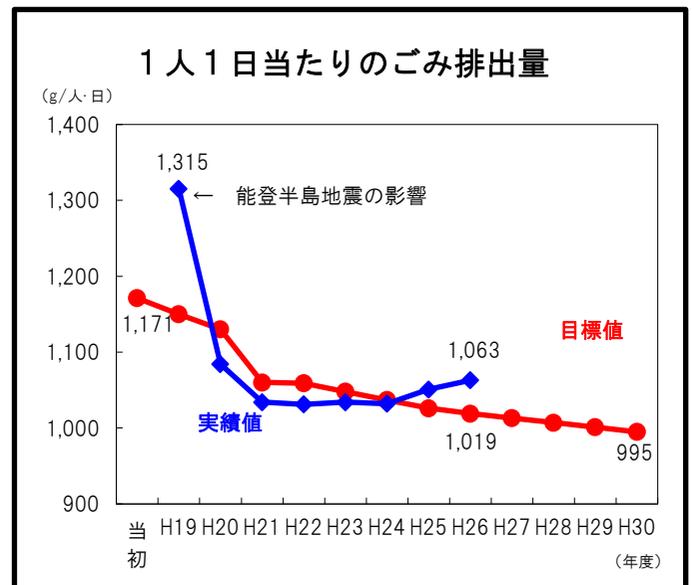
・ H18年、H19年の指定ごみ袋の値上げにより減少していたごみ排出量は、H25年から増加に転じている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ ごみ量には、資源ごみが含まれている。分別して資源化しても、ごみ量の減少に反映されない。
- ・ ごみ袋の値上げを検討
- ・ 事業系ごみの処理費の値上げを検討

平成27年度の主要事業

- ・ 家庭用ごみ減量機器設置費補助金事業
- ・ 資源物回収事業推進奨励金交付事業
- ・ 快適環境づくり推進事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
3 生活環境の充実
(2) 安定した水の供給

担当課	評価ランク
上下水道課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
有収率	88.5%	84.5%	93.5%

この分野における現状

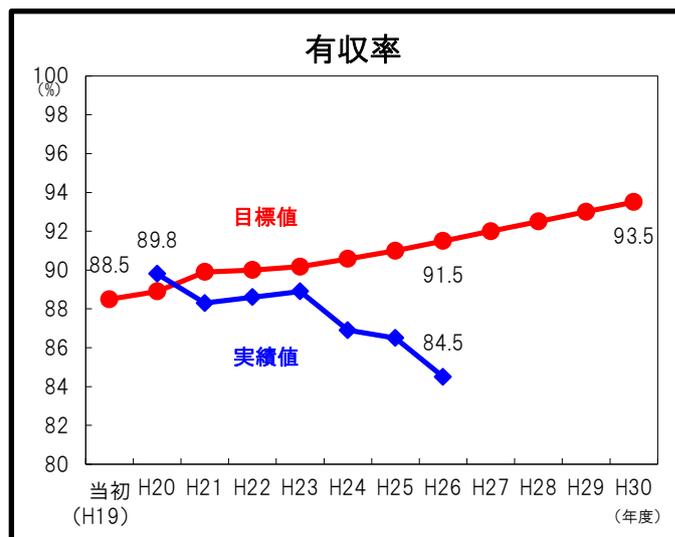
目標値より7%低い値となった。
要因は、七尾、中島地区において、老朽管布設箇所より、漏水が発生し、有収率の低下を招いた。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・老朽管の更新（石綿管等）の着実な更新
- ・漏水事故の迅速処置、応急資材の備蓄を拡充
- ・水道管理施設の整備、更新

平成27年度の主要事業

- ・有収率の低い中島の老朽管更新
- ・下水道整備に併せた老朽管更新
- ・漏水事故に対する迅速処置



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
3 生活環境の充実
(3) 下水道等の整備

担当課	評価ランク
上下水道課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
御祓川の水質 (BOD)	7.2mg/L	2.7mg/L	3.0mg/L以下

この分野における現状

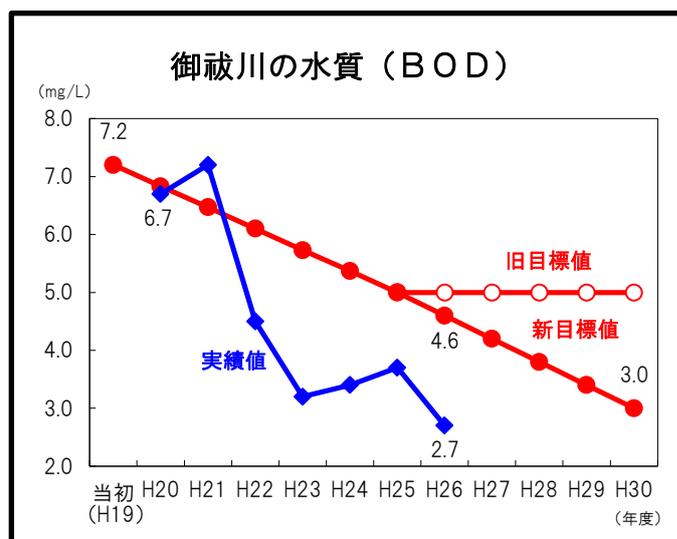
目標値より1.9ポイント低い値となった。
御祓地区の市街地において、下水道が整備されたことにより、水質が改善されたものと考えられる。

目標達成に向けた具体的な課題

七尾地区での下水道普及率は平成27年3月末で64.8%となり、昨年より0.9ポイント向上している状況である。
下水道整備を進め接続率を向上することで、さらに水質が改善されるよう努める。

平成27年度の主要事業

公共下水道の推進
浄化槽の推進



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
4 交通体系の充実
(1) 道路網の整備

担当課	評価ランク
土木課	S

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
七尾市中心市街地～名古屋間の所要時間(道路)	4時間10分	3時間20分	3時間20分

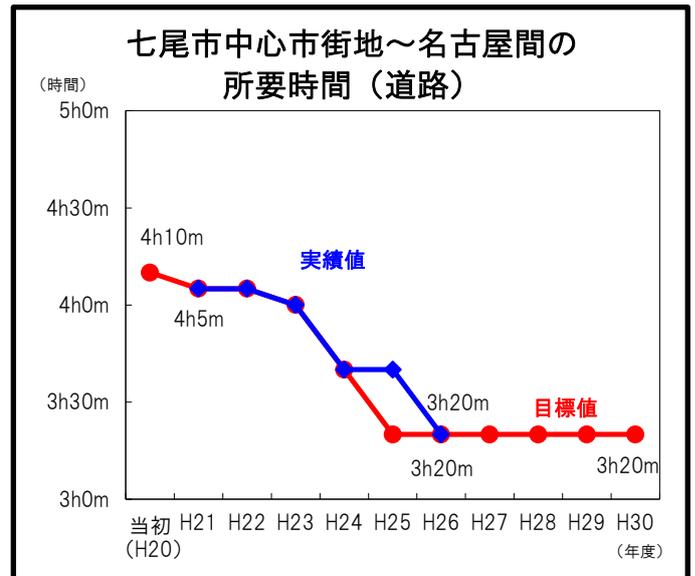
この分野における現状

能越自動車道 七尾IC～小矢部砺波JCT間 供用済

目標達成に向けた具体的な課題

平成27年度の主要事業

H27.11.8 能越県境PA完成



担当課	評価ランク
土木課	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
安全・快適な道路整備が行われていると思う市民の割合(市民アンケート)	36.8%	42.1%	45.0%

この分野における現状

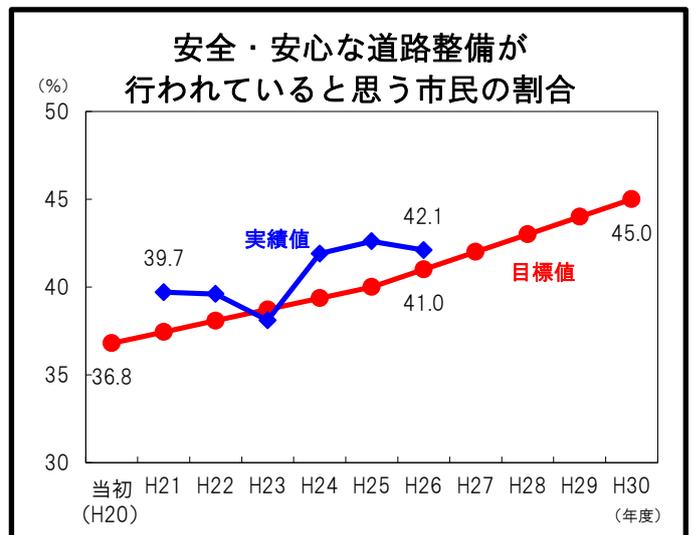
- ・市内各拠点へのアクセス機能が低い
- ・歩行者や運転者に危険な道路の存在
- ・道路ストックの老朽化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・道路の拡幅やバイパス等の整備(国、県に対する整備・促進活動)
- ・安全・安心な道路整備(通学路や狭小道路の整備、橋梁の維持管理)

平成27年度の主要事業

- ・社会資本整備総合交付金事業
- ・道整備交付金事業
- ・みちがえるみち整備事業
- ・くらしにやさしいみちづくり事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
4 交通体系の充実
(2) 鉄道・バスの充実

担当課	評価ランク
企画財政課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成26年度)	平成30年度
公共交通機関（鉄道・バス）が充実していると思う市民の割合（市民アンケート）	35.9%	34.8%	50.0%

この分野における現状

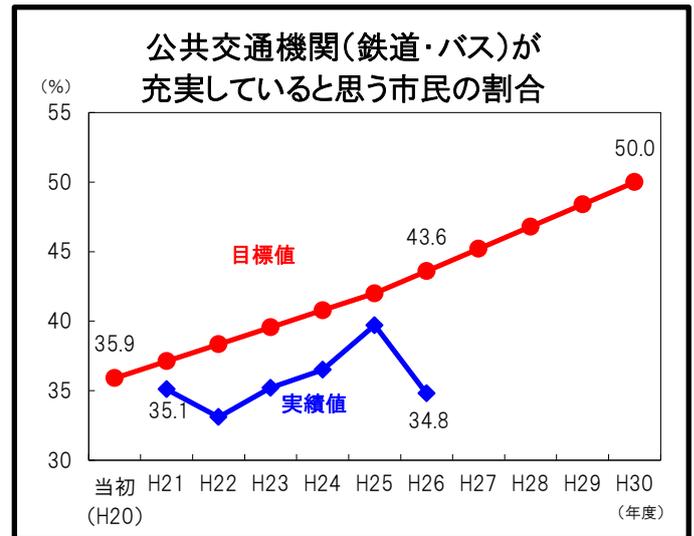
- ・ 過疎化、少子化、マイカー利用の増加等により公共交通利用者は減少傾向にあり、事業者の経営環境は厳しい状況である。
- ・ 高齢化の進展により、生活交通の維持、確保及び公共交通空白地域の解消が課題となっている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 利用者の減少に伴う事業者の経営状況改善
- ・ 高齢化の進行に対応する生活交通の維持、確保
- ・ 公共交通空白地域を解消するコミュニティバス、デマンド型乗合タクシー等の運行

平成27年度の主要事業

- ・ のと鉄道運賃差額補助事業
- ・ のと鉄道安全運行対策費補助事業
- ・ 生活バス路線維持対策費補助事業
- ・ コミュニティバス運行事業



分野別目標達成状況一覧

第1節 地域経営

No.	指標名	当初	平成25年度		平成26年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
1	市民と行政が協力し合うまちづくりが進んでいると思う市民の割合(市民アンケート)	20.1% (平成20年度)	30.6% (平成25年度)	S	30.0% (平成26年度)	特A	25.0%	35.0%	市民男女協働課
2	地域活動に参加している市民の割合(市民アンケート)	51.3% (平成20年度)	50.7% (平成25年度)	B	48.3% (平成26年度)	C	55.0%	60.0%	市民男女協働課
3	市が市政に関する情報を適切に提供していると思う市民の割合(市民アンケート)	47.0% (平成20年度)	47.2% (平成25年度)	C	44.4% (平成26年度)	C	56.0%	65.0%	広報広聴課
4	市役所職員の窓口や電話での対応に満足している市民の割合(市民アンケート)	56.0% (平成20年度)	57.4% (平成25年度)	C	52.7% (平成26年度)	C	65.0%	75.0%	秘書人事課
5	経常収支比率	98.8% (平成19年度)	94.0% (平成25年度)	S	96.7% (平成26年度)	B	97.0%	92.0%	企画財政課
6	実質公債費比率	20.1% (平成19年度)	15.6% (平成25年度)	S	15.2% (平成26年度)	S	19.0%	17.0%	企画財政課

第2節 産業

No.	指標名	当初	平成25年度		平成26年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
7	七尾市への入り込み客数	3,822,705人 (平成20年)	3,680,917人 (平成25年)	B	3,633,986人 (平成26年)	C	4,000,000人	4,300,000人	観光交流課
8	和倉温泉への入り込み客数	905,705人 (平成20年)	852,157人 (平成25年)	C	813,620人 (平成26年)	C	1,091,000人	1,200,000人	観光交流課
9	三大都市圏からの入り込み客数(和倉温泉)	482,114人 (平成20年)	407,678人 (平成25年)	C	350,046人 (平成26年)	C	570,000人	600,000人	観光交流課
10	外国人宿泊客数(和倉温泉)	21,227人 (平成20年)	19,610人 (平成25年)	B	20,606人 (平成26年)	B	20,000人	25,000人	観光交流課
11	体験・滞在型交流人口	2,202人泊 (平成19年度)	37,625人泊 (平成25年度)	C	43,190人泊 (平成26年度)	C	65,000人泊	90,000人泊	観光交流課
12	製造品出荷額等	693億円 (平成18年)	538億円 (平成25年)	C	550億円 (平成26年)	C	721億円	741億円	産業振興課
13	新たな商品・サービスの創出を行った事業者数	15事業者 (平成20年)	13事業者 (平成25年)	S	7事業者 (平成26年)	C	10事業者	15事業者	産業振興課
14	企業立地件数(平成20年度からの累計)	0件 (平成19年度)	5件 (平成25年度)	S	5件 (平成26年度)	C	5件	10件	産業振興課
15	新規起業家数(平成19年度からの累計)	3人 (平成19年度)	16人 (平成25年度)	S	19人 (平成26年度)	S	8人	12人	産業振興課
16	認定農家数	101経営体 (平成19年度)	122経営体 (平成25年度)	B	132経営体 (平成26年度)	B	130経営体	160経営体	農林課
17	集落営農組織数	25組織 (平成19年度)	30組織 (平成25年度)	S	33組織 (平成26年度)	S	27組織	28組織	農林課
18	間伐材生産量	1,213m ³ (平成19年度)	6,231m ³ (平成25年度)	S	6,193m ³ (平成26年度)	S	5,000m ³	5,000m ³	農林課
19	七尾市公設地方卸売市場の水産物取扱高	12,205t (平成19年)	17,326t (平成25年)	S	12,036t (平成26年)	C	13,800t	15,300t	里山里海振興課
20	取扱貨物量(七尾港)	4,395千t (平成19年)	3,550千t (平成25年)	C	4,539千t (平成26年)	B	4,900千t	5,400千t	産業振興課
21	空き店舗の活用件数(平成21年度からの累計)	0件 (平成20年度)	4件 (平成25年度)	S	7件 (平成26年度)	特A	4件	9件	産業振興課
22	まちなかイベント入り込み客数	104,600人 (平成19年)	116,183人 (平成25年)	C	98,490人 (平成26年)	C	135,000人	160,000人	観光交流課

分野別目標達成状況一覧

第3節 教育

No.	指標名	当初	平成25年度		平成26年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
23	学校の決まりを守っていないという小学生の割合	25.0% (平成19年度)	9.9% (平成25年度)	S	9.3% (平成26年度)	S	12.0%	10.0%	学校教育課
24	将来の夢や目標がないという中学生の割合	32.0% (平成19年度)	20.2% (平成25年度)	A	20.9% (平成26年度)	B	21.0%	10.0%	学校教育課
25	中学校における不登校生徒の割合	3.22% (平成19年度)	3.53% (平成25年度)	C	3.40% (平成26年度)	C	2.00%	1.00%	学校教育課
26	学力調査で市平均が県平均を上回る教科数	4教科 (平成19年度)	10教科 (平成25年度)	S	10教科 (平成26年度)	B	10教科	すべての教科	学校教育課
27	授業に対する児童生徒の理解度	36.5% (平成19年度)	48.6% (平成25年度)	B	52.6% (平成26年度)	B	50.0%	70.0%	学校教育課
28	市民一人当たり年間公民館利用回数	3.8回 (平成19年度)	4.2回 (平成25年度)	S	4.4回 (平成26年度)	A	4.2回	4.5回	生涯学習スポーツ課
29	市民一人当たり年間利用冊数	6.2冊 (平成19年度)	6.8冊 (平成25年度)	B	6.8冊 (平成26年度)	B	7.0冊	8.0冊	中央図書館
30	成人の週1回以上のスポーツ実施率(市民アンケート)	23.1% (平成20年度)	19.8% (平成25年度)	C	19.2% (平成26年度)	C	40.0%	50.0%	生涯学習スポーツ課
31	姉妹・友好都市との交流人口	149人 (平成19年度)	101人 (平成25年度)	C	82人 (平成26年度)	C	160人	170人	市民男女協働課
32	人権が尊重されているまちづくりが進んでいると思う市民の割合(市民アンケート)	23.4% (平成20年度)	22.3% (平成25年度)	C	20.7% (平成26年度)	C	26.0%	28.0%	市民男女協働課
33	男女共同参画が進んでいると思う市民の割合(市民アンケート)	27.8% (平成20年度)	25.2% (平成25年度)	C	23.2% (平成26年度)	C	31.0%	33.0%	市民男女協働課

第4節 芸術・文化

No.	指標名	当初	平成25年度		平成26年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
34	歴史・文化遺産が守られていると思う市民の割合(市民アンケート)	53.6% (平成20年度)	52.4% (平成25年度)	C	54.4% (平成26年度)	B	58.6%	60.0%	文化課
35	七尾四大祭り入り込み客数	204,000人 (平成20年)	166,500人 (平成25年)	C	153,000人 (平成26年)	C	250,000人	300,000人	観光交流課
36	七尾美術館観覧者数	23,348人 (平成19年度)	30,643人 (平成25年度)	C	27,064人 (平成26年度)	C	38,000人	41,000人	文化課
37	能登島ガラス美術館観覧者数	43,078人 (平成19年度)	41,388人 (平成25年度)	C	38,360人 (平成26年度)	C	55,000人	60,000人	文化課
38	能登演劇堂鑑賞者数	19,231人 (平成19年度)	22,676人 (平成25年度)	B	12,642人 (平成26年度)	C	24,000人	28,800人	文化課

第5節 自然環境

No.	指標名	当初	平成25年度		平成26年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
39	七尾市の豊かな自然環境が守られていると思う市民の割合(市民アンケート)	41.3% (平成20年度)	44.1% (平成25年度)	C	43.0% (平成26年度)	C	50.0%	60.0%	環境課
40	七尾らしい魅力ある景観が形成されていると思う市民の割合(市民アンケート)	32.7% (平成20年度)	42.4% (平成25年度)	S	40.7% (平成26年度)	B	40.0%	45.0%	都市建築課
41	家庭において温暖化防止対策の取り組みにより削減したCO ₂ の量	10,606kg (平成19年度)	78,330kg (平成25年度)	C	84,477kg (平成26年度)	C	97,129kg	117,129kg	環境課
42	リサイクル率	18.6% (平成19年度)	18.2% (平成25年度)	B	18.1% (平成26年度)	C	20.2%	25.0%	環境課

分野別目標達成状況一覧

第6節 健康・福祉・医療

No.	指標名	当初	平成25年度		平成26年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
43	子どもを生き育てやすい環境が整っていると思う市民の割合(市民アンケート)	30.6% (平成20年度)	34.0% (平成25年度)	C	26.8% (平成26年度)	C	40.0%	50.0%	子育て支援課
44	子育て支援拠点施設利用人数	16,754人 (平成19年度)	25,747人 (平成25年度)	S	27,692人 (平成26年度)	S	24,500人	24,500人	子育て支援課
45	育児に不安を持っている親の割合	12.1% (平成19年度)	17.7% (平成25年度)	C	9.4% (平成26年度)	A	10.0%	8.0%	健康推進課
46	【修正】毎日朝食を食べる習慣のある子どもの割合	92.9% (平成22年度)	98.7% (平成25年度)	B	100.0% (平成26年度)	S	100.0%	100.0%	健康推進課
47	肥満の割合(BMI 25以上)	32.0% (平成19年度)	28.7% (平成25年度)	C	29.0% (平成26年度)	C	22.0%	12.0%	健康推進課
48	ストレスを感じている人の割合(市民アンケート)	76.2% (平成20年度)	67.7% (平成25年度)	B	67.3% (平成26年度)	B	65.0%	50.0%	健康推進課
49	医療体制が充実していると思う市民の割合(市民アンケート)	49.8% (平成20年度)	59.3% (平成25年度)	B	58.9% (平成26年度)	B	60.0%	62.0%	保険課
50	「いきがい」を感じて日常生活を送っている高齢者の割合(市民アンケート)	63.4% (平成20年度)	65.6% (平成25年度)	S	59.2% (平成26年度)	C	65.0%	70.0%	福祉課
51	要介護・要支援認定率	17.4% (平成20年)	18.5% (平成25年)	特A	18.2% (平成26年)	特A	20.4%	22.0%	保険課
52	障害者雇用率	1.89% (平成19年)	1.73% (平成25年)	C	1.92% (平成26年)	B	2.00%	2.20%	福祉課
53	障害者が暮らしやすい環境が整っていると思う市民の割合(市民アンケート)	23.6% (平成20年度)	22.9% (平成25年度)	C	24.8% (平成26年度)	C	37.0%	51.0%	福祉課
54	支え合い、助け合うという意識が地域にあると思う市民の割合(市民アンケート)	44.0% (平成20年度)	51.0% (平成25年度)	S	47.5% (平成26年度)	B	48.0%	58.0%	福祉課

第7節 生活環境・都市基盤

No.	指標名	当初	平成25年度		平成26年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
55	自主防災組織数(累計)	12団体 (平成19年度)	207町会 (平成25年度)	S	225町会 (平成26年度)	特A	80町会	251町会	防災交通課
56	良好な住環境が形成されていると思う市民の割合(市民アンケート)	38.6% (平成20年度)	34.4% (平成25年度)	C	35.4% (平成26年度)	C	45.0%	50.0%	都市建築課
57	自主防犯組織数	20団体 (平成19年度)	32団体 (平成25年度)	S	14団体 (平成26年度)	C	25団体	24団体	防災交通課
58	交通事故発生件数	229件 (平成20年)	134件 (平成25年)	S	121件 (平成26年)	特A	200件	100件	防災交通課
59	1人1日当たりのごみ排出量	1,171g/人・日 (平成18年度)	1,051g/人・日 (平成25年度)	B	1,063g/人・日 (平成26年度)	B	1,026g/人・日	995g/人・日	環境課
60	有収率	88.5% (平成19年度)	86.5% (平成25年度)	B	84.5% (平成26年度)	B	91.0%	93.5%	上下水道課
61	御祓川の水質(BOD)	7.2mg/L (平成19年度)	3.7mg/L (平成25年度)	S	2.7mg/L (平成26年度)	S	5.0 mg/L	3.0mg/L以下	上下水道課
62	七尾市中心市街地～名古屋間の所要時間(道路)	4時間10分 (平成20年度)	3時間40分 (平成25年度)	B	3時間20分 (平成26年度)	S	3時間20分	3時間20分	土木課
63	安全・快適な道路整備が行われていると思う市民の割合(市民アンケート)	36.8% (平成20年度)	42.6% (平成25年度)	A	42.1% (平成26年度)	A	40.0%	45.0%	土木課
64	公共交通機関(鉄道・バス)が充実していると思う市民の割合(市民アンケート)	35.9% (平成20年度)	39.7% (平成25年度)	B	34.8% (平成26年度)	C	42.0%	50.0%	企画財政課